



一人ひとりの個性が、  
ぶつかり合う。溶け合う。響き合う。  
専修らしさとは、あなたらしさです。

人が、専修をつくる。

平成23年度

# 事業報告書

## 学校法人専修大学 平成23年度事業報告書

【根拠条文】	私立学校法第47条
【事業年度】	平成23年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
【法人名】	学校法人専修大学
【英訳名】	Senshu University Educational Foundation
【代表者】	理事長 日高 義博
【法人所在地】	〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8-1
【URL】	<a href="http://www.senshu-u.ac.jp/index.html">http://www.senshu-u.ac.jp/index.html</a>
【事務連絡先】	総合企画広報室 総合企画課 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8 電話 03-3265-5839

### 目次

理事長挨拶		1
建学の精神と21世紀ビジョン		2
沿革		3
I 法人の概要	1 学校法人専修大学組織図(平成24年3月31日現在)	4
	2 所在地(平成24年3月31日現在)	5
	3 学生数(平成23年5月1日現在)	5
	4 入学志願者数の推移(学部・学科)	7
	5 役員・教職員の状況(平成24年3月31日現在)	7
II 特記事項	1 東日本大震災に係る状況と対応(平成23年度)	9
	2 トピックス	11
III 事業の概要	主な事業の目的・計画及び進捗状況	
	1 教育・研究力の強化	13
	2 教育研究環境の整備	16
	3 学生支援の充実	16
	4 社会地域貢献の推進	17
	5 知の発信及び広報活動の強化	19
	6 校友会・育友会との連携	20
	7 専修大学北海道短期大学の学生募集停止に伴う対応	20
	8 持続的発展に向けた取り組み	20
IV 決算の概要	1 資金収支計算書	22
	2 消費収支計算書	25
	3 貸借対照表	27
	4 学校法人が作成する計算書類について	29
V その他の資料	1 平成23年度卒業・修了者数	30
	2 卒業後の進路(学部・学科)	31
	3 公開講座等の開講状況	33
	4 平成23年度学費	35
	5 国際交流協定校・国際交流組織間協定校(平成24年3月31日現在)	37
	6 付属校	37

\*本報告書について、第三者による無断複製・転用・公開を禁止します。



学校法人専修大学の平成23年度事業報告書をまとめましたので、ここに報告いたします。

平成23年3月11日に発生しました東日本大震災に伴い、本学においても緊急を要する様々な対応を講じなければなりませんでしたが、多くの皆様から温かいご支援をいただきましたことに対し、心よりお礼申し上げます。

学校法人専修大学は、21世紀ビジョン「社会知性の開発」を達成するために、「学生を基本に据えた大学づくり」を大学運営の基本理念に掲げ、社会の屋台骨を支える有為な人材の育成に努めるとともに、骨太の大学改革に取り組んでいます。平成23年度は、策定した事業計画に基づき、教育・研究力の強化、学生支援の充実、知の発信及び広報活動の強化等を進展させるとともに、東日本大震災により被災した学生の修学を支援するための学費減免特別措置や、「被災者支援スカラシップ入学試験」を実施し、さらには、平成24年度全入学試験の入学検定料を被災した志願者には免除する措置を講じました。激震地にあった石巻専修大学においては、「復興共生プロジェクト」を発足させ、宮城県や石巻市等と連携しながら、防災と復興に係る諸事業を展開するなど、地域とともに復興を目指しています。

専修大学は、修学意欲や目的意識等で多様化してきている学生の学習効果を高めるべく、学部教育の改革に取り組みました。法学部においては、卒業要件単位数を変更し、厳格な履修上限単位数を設定するなどカリキュラム改正を実施し、平成22年度に新設された文学部人文ジャーナリズム学科では、ジャーナリズムの最前線で活躍する人材を活用した協力講座を開講し、学生に学問的刺激を与えました。大学院においては、社会知性開発研究センターの研究成果を大学院教育に反映させるため、学際的共通授業科目として「特殊問題特論」を全研究科の修士課程において開講しました。法科大学院では、修了者の質を保証するため、各授業科目に目標・到達レベル(到達目標)を設定するなど、教育の質の向上に努めました。

研究力の強化にあたっては、文部科学省の「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に選定された研究プロジェクトをはじめとする6つの研究拠点を展開しました。また、科学研究費助成事業の新規課題採択率が41.1%となり、文部科学省公表の「平成23年度科研費(補助金分・基金分)の配分」によると、全研究機関中12位、私立大学では2位という高率になりました。キャンパスの整備については、専修大学キャンパス構想検討会議を設置し、鋭意検討を進めています。短期的な課題である神田5号館の建替えや、懸案の国際交流会館(仮称)の建設等については、具体案が固まり次第、整備に着手していきます。

石巻専修大学は、「実践的な教育」を大学の教育目標として新たに設定しました。また、学部教育において厳格な成績評価を実施するため、GPA制度の試験運用を図りました。この試みに基づき、本制度を平成24年度から本格導入します。学生の就職については、東日本大震災による企業の採用抑制が懸念されましたが、東北に所在する企業を中心として数百社から求人情報を調査・収集し、学生に提供しました。あわせて、首都圏や関西に所在する企業への就職希望者を対象に、就職支援バスツアーを実施しました。会計専門職の養成については、経営学部が「会計学入門」を1年次生の必修科目として開講しており、加えて、「日商簿記試験対策講座」を実施した結果、日商簿記試験の合格者は前年度から倍増しました。

わが国は、現在、東日本大震災からの復興に加え、少子高齢化、グローバル化、環境・エネルギー問題など様々な課題に直面しており、新たな日本のあるべき姿を描くことが求められています。このような状況にあつて、専修大学の21世紀ビジョンである「社会知性の開発」は大きな意味を持っており、「社会知性」を備えた有為な人材の育成、輩出に努める所存です。



学校法人専修大学理事長

日高義博



## 建学の精神と21世紀ビジョン

専修大学は、1880年(明治13年)に若き創立者である相馬永胤、田尻稲次郎、目賀田種太郎、駒井重格の4人によって創立されました。幕末の動乱を生き抜いた4人の創立者は、明治維新後、米国のコロンビア、エール、ハーバード、ラトガースの各大学に留学し、強靱な精神力を持って約8年の勉学に励みました。海外から黎明期にあった日本の国の形を考え、日本の発展のために、修得した最新の知見を社会に還元しようとした彼らは、高等教育によって社会の屋台骨を支える有為な人材を育成するという「熱き思い」を抱いたのです。そして帰国後、日本語により経済学や法律学を教授するために、本学の前身である「専修学校」を創立しました。明治10年代は、明治政府による法律の整備が進み、憲法制定や条約改正を求める声も一段と大きくなった時期でもあり、いち早く近代法の考え方をわが国に根付かせようとした本学は、5大法律学校の一つとして重要な役割を担いました。

爾来、本学は、関東大震災や戦禍などによって極めて困難な状況に直面しながらも、学窓の灯火を守り続けてきました。21世紀に入った今日においては、私学全体に降りかかる大きな荒波を乗り越え、更なる発展を遂げなければなりません。本学の進むべき指針を熟慮するにあたり、常に創立の原点に立ち返ることで、自ずと道は拓かれます。その指針として、本学は、建学の精神を現代的に捉え直した「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」を21世紀ビジョンに据えました。「社会知性の開発」をどう具現化するのかについては、学部あるいは研究科によって方法論も力点も自ずから異なりますが、各部局において、積極的かつ真摯な取り組みがなされています。



相馬 永胤  
(そうま ながたね)



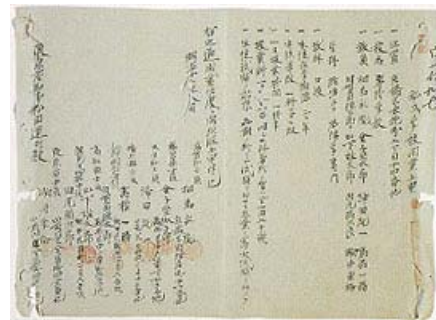
田尻 稲次郎  
(たじり いなじろう)



目賀田 種太郎  
(めがた たねたろう)



駒井 重格  
(こまい しげただ)



専修学校(専修大学の前身)の開業上申

## 専修大学 21世紀ビジョン

### 「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」

社会知性とは、

「専門的な知識・技術とそれに基づく思考方法を核としながらも、深い人間理解と倫理観を持ち、地球的視野から独創的な発想により主体的に社会の諸課題の解決に取り組んでいける能力」である。

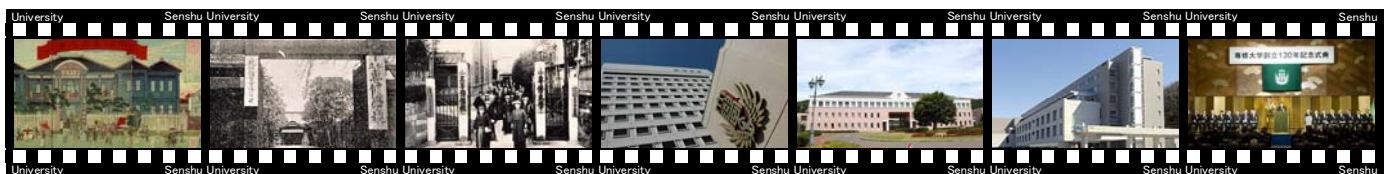
※掲載した「開業上申」は東京都公文書館、目賀田種太郎(写真)は大垣市立図書館が所蔵。

1880年	明治13年	日本語による経済・法律専攻の専修学校（夜間2年制）設立 ※1 京橋区南鍋町の仮校舎から木挽町の本校舎へ移る ※2
1885年	18年	神田区今川小路の校地（現在の神田校舎敷地）に校舎を新築、移転 ※3
1903年	36年	専門学校令による専修学校となる
1913年	大正2年	校名を私立専修大学と改称
1919年	8年	校名を専修大学と改称
1922年	11年	大学令により大学として認可
1923年	12年	大学令による専修大学を設置、経済学部を開設
1927年	昭和2年	法学部設置
1948年	23年	川崎市生田に校地・建物を取得、新校舎に改装
1949年	24年	学制改革による新制大学となり商経学部・法学部の2学部で発足
1952年	27年	大学院経済学研究科修士課程設置
1954年	29年	大学院法学研究科修士課程設置
1955年	30年	大学院経済学研究科・法学研究科博士課程設置
1962年	37年	経営学部設置
1963年	38年	商経学部を経済学部と改称
1965年	40年	商学部設置
1966年	41年	文学部設置
1968年	43年	農業機械科・農業土木科・農業経営科を擁し専修大学美唄農工短期大学開学
1971年	46年	大学院文学研究科修士課程設置 大学院文学研究科博士課程設置
1973年	48年	専修大学美唄農工短期大学を専修大学北海道短期大学と改称し、土木科・商科・農業機械科の3科に改組
1975年	50年	大学院経営学研究科・商学研究科修士課程設置
1977年	52年	大学院経営学研究科・商学研究科博士課程設置
1979年	54年	創立100年記念式典を日本武道館で挙行
1983年	58年	専修大学北海道短期大学造園林学科・経済科設置
1989年	平成元年	理工学部・経営学部を擁し石巻専修大学開学
1993年	5年	石巻専修大学大学院理工学研究科、経営学研究科修士課程設置
1995年	7年	石巻専修大学大学院理工学研究科博士後期課程設置
1997年	9年	石巻専修大学大学院経営学研究科博士後期課程設置
2001年	13年	ネットワーク情報学部設置
2003年	15年	専修大学北海道短期大学土木科を環境システム科、農業機械科を農業科学科、造園林学科を園芸緑地科に名称変更
2004年	16年	専門職大学院法務研究科（法科大学院）法務専攻設置
2006年	18年	専修大学北海道短期大学環境システム科・農業科学科・園芸緑地科をみどりの総合科学科に、商科・経済科を商経社会総合学科とし、2学科編成に改組
2009年	21年	専修大学サテライトキャンパス設置
2010年	22年	人間科学部設置

※1 1880年（明治13）9月に開校した専修学校（専修大学の前身）は日本最初の経済専門学校であり、初の私立法律専門学校であった。この当時法律学を教える高等教育機関は、東京大学の法学部と司法省の法学校の2つにすぎず、英語や仏語で教授していたのに対し、専修学校は日本語で教授するという画期的な授業を行った。

※2 現在、東京都中央区銀座3丁目、歌舞伎座裏（旧京橋区木挽町2丁目14番地）には専修大学発祥の地碑が建立されている。

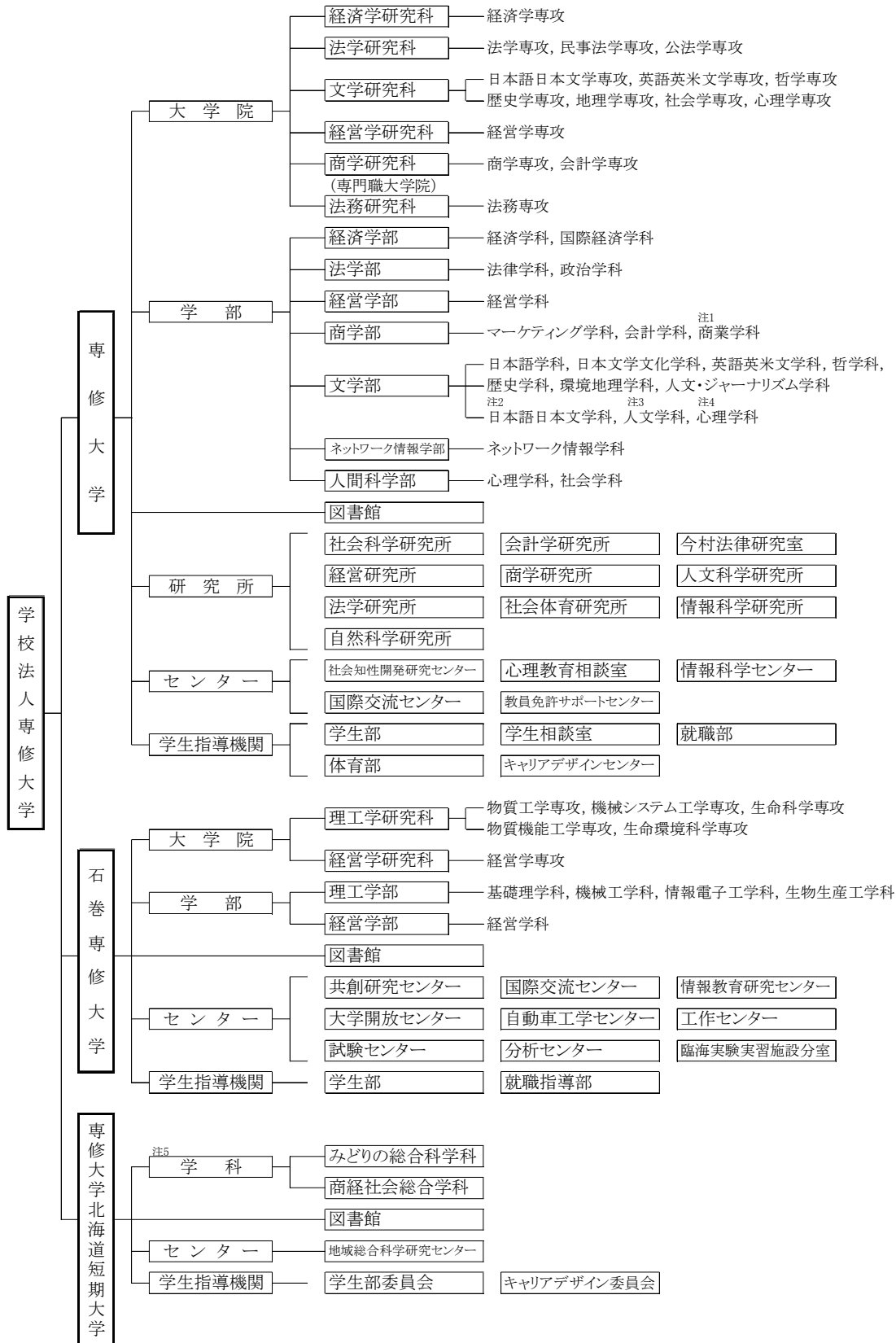
※3 1884年（明治17）、旧旗本屋敷跡を校地として買い求め、翌年神田区今川小路に自前の校舎を新築した。このとき、元々あったと思われる黒塗りの冠木門（柱の上方に横木を渡した屋根のない門）を校門に使用にしたことから、当時、東大の「赤門」に対して「黒門」といわれ、黒門といえば専修学校を意味することとなった。





# I 法人の概要

## 1 学校法人専修大学組織図(平成24年3月31日現在)



注1: 商業学科は、平成18年度以降の学生募集を停止しているが、当該学科に学生が在学する間、経過措置により存続する。  
 注2: 日本語日本文学科は、平成22年度以降の学生募集を停止しているが、当該学科に学生が在学する間、経過措置により存続する。  
 注3: 人文学科は、平成22年度以降の学生募集を停止しているが、当該学科に学生が在学する間、経過措置により存続する。  
 注4: 心理学科は、平成22年度以降の学生募集を停止しているが、当該学科に学生が在学する間、経過措置により存続する。  
 注5: 専修大学北海道短期大学は、平成23年度以降の学生募集を停止しており、当該短期大学に在学する学生の卒業を待って廃止する。

## 2 所在地(平成24年3月31日現在)

- (1) 専修大学  
 神田キャンパス 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8  
 生田キャンパス 〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1  
 サテライトキャンパス 〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸2130-2  
 伊勢原総合グラウンド 〒259-1111 神奈川県伊勢原市西富岡163
- (2) 石巻専修大学  
 石巻キャンパス 〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1
- (3) 専修大学北海道短期大学  
 美唄キャンパス 〒079-0197 北海道美唄市字美唄1610-1
- (4) セミナーハウス・研修館  
 箱根セミナーハウス 〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根字大芝103  
 伊勢原セミナーハウス 〒259-1111 神奈川県伊勢原市西富岡1080-1  
 軽井沢セミナーハウス 〒389-0113 長野県北佐久郡軽井沢町南軽井沢1398  
 山中湖セミナーハウス 〒401-0501 山梨県南都留郡山中湖村山中字南中原273-18  
 富士山中湖セミナーハウス 〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野字切詰479-56  
 御宿セミナーハウス 〒299-5105 千葉県夷隅郡御宿町岩和田705  
 生田研修館 〒214-0031 神奈川県川崎市多摩区東生田1-12-9  
 国際研修館 〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枳形5-1-1  
 相馬記念会館 〒079-0197 北海道美唄市字美唄1610-1

## 3 学生数(平成23年5月1日現在)

- (1) 専修大学

(学部)

区分	学部	学科〔専攻〕	入学定員	収容定員	入学者数	現員	
一部	経済学部	経済学科	480	1,960	545	2,538	
		国際経済学科	200	800	220	985	
	法学部	法律学科	550	2,220	604	2,757	
		政治学科	150	600	177	726	
	経営学部	経営学科	530	2,180	607	2,808	
	商学部	商業学科	—	—	—	19	
		マーケティング学科	440	1,820	525	2,369	
		会計学科	220	840	281	1,078	
	文学部	日本語日本文学科					
		日本語学専攻	—	120	—	175	
		日本文学文化専攻	—	220	—	309	
		日本語学科	70	140	79	161	
		日本文学文化学科	110	220	145	275	
		英語英米文学科	140	560	173	711	
		人文学科					
		哲学人間学専攻	—	110	—	134	
		歴史学専攻	—	160	—	242	
		環境地理学専攻	—	90	—	126	
		社会学専攻	—	160	—	221	
		哲学科	70	140	65	158	
		歴史学科	130	260	148	290	
		環境地理学科	50	100	63	122	
		人文・ジャーナリズム学科	90	180	105	231	
		心理学科	—	100	—	126	
	ネットワーク情報学部	ネットワーク情報学科	230	940	250	1,133	
	人間科学部	心理学科	70	140	74	154	
		社会学科	120	240	132	301	
一部計			3,650	14,300	4,193	18,149	
二部	経済学部	経済学科	100	500	121	592	
	法学部	法律学科	150	700	159	802	
	商学部	商業学科	—	—	—	12	
		マーケティング学科	100	500	116	600	
二部計			350	1,700	396	2,006	
学部合計			4,000	16,000	4,589	20,155	

## (大学院)

課程	研究科	専攻	入学定員	収容定員	入学者数	現員	
修士	経済学	経済学	30	60	26	55	
	法学	法学	25	50	12	22	
	文学	日本語日本文学		10	20	8	18
		英語英米文学		5	10	2	4
		哲学		5	10	4	8
		歴史学		10	20	10	17
		地理学		5	10	1	4
		社会学		5	10	4	13
		心理学		10	20	15	33
	経営学	経営学	20	40	12	27	
	商学	商学	10	20	4	19	
		会計学	15	30	17	33	
	修士課程計			150	300	115	253
博士後期	経済学	経済学	3	9	1	8	
	法学	民事法学	3	9	0	2	
		公法学	3	9	1	5	
	文学	日本語日本文学	3	9	3	12	
		英語英米文学	2	6	1	6	
		哲学	2	6	0	1	
		歴史学	5	15	2	18	
		地理学	3	9	0	0	
		社会学	3	9	1	5	
		心理学	3	9	2	7	
	経営学	経営学	3	9	0	3	
	商学	商学	2	7	1	6	
		会計学	2	4	0	1	
博士後期課程計			37	110	12	74	
大学院合計			187	410	127	327	

## (専門職大学院)

課程	研究科	専攻	入学定員	収容定員	入学者数	現員
専門職学位	法務	法務	55	175	50	135

※収容定員について

1. 平成23年度より入学定員を60名から55名に変更した。
2. 修業年限は、法学未修者が3年、法学既修者が2年であるため、平成23年度の実収容定員は133名となる。

## (2) 石巻専修大学

## (学部)

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	入学者数	現員
理工学部	基礎理学科	65	8	276	39	162
	機械工学科	45	8	196	50	219
	情報電子工学科	45	8	196	37	180
	生物生産工学科	45	8	196	53	199
経営学部	経営学科	240	35	1,030	180	1,044
学部合計		440	67	1,894	359	1,804

## (大学院)

課程	研究科	専攻	入学定員	収容定員	入学者数	現員
修士	理工学	物質工学	5	10	5	12
		機械システム工学	5	10	4	5
		生命科学	5	10	6	8
	経営学	経営学	5	10	7	13
	修士課程計			20	40	22
博士後期	理工学	物質機能工学	3	9	1	1
		生命環境科学	3	9	3	7
	経営学	経営学	3	9	0	3
博士後期課程計			9	27	4	11
大学院合計			29	67	26	49



(3) 専修大学北海道短期大学  
(学科)

学 科	入学定員	収容定員	入学者数	現 員
みどりの総合科学科	—	80	—	47
商経社会総合学科	—	120	—	94
合 計	—	200	—	141

4 入学志願者数の推移(学部・学科)

	H20	H21	H22	H23	H24
専 修 大 学	35,117	33,779	38,006	38,169	39,834
石 巻 専 修 大 学	848	682	815	613	522
専修大学北海道短期大学	150	155	169	—	—

5 役員・教職員の状況(平成24年3月31日現在)

(1) 役 員

総 長 (空 席)

理 事 長 日高 義博〔専修大学長〕

専務理事 富山 尚徳

常務理事 今野 健吾 佐藤 猛 田中 實 松木 健一 湯浅 敏明

理 事 浅見 和彦 小豆畑 孝 甘竹 秀雄 市川 辰雄 伊東 洋三

内野 明 宇都 榮子 岡村 誠男 金子 洋之 坂田 隆〔石巻専修大学長〕

坂本 武憲 寺本 千名夫〔専修大学北海道短期大学長〕 波岡 實

西島 篤師 瓶子 長幸 宮岡 孝之 室井 義雄 桃野 直樹

常勤監事 白根 修

監 事 小宮多喜次 吉田 元亮 (五十音順)

(2) 評議員

学校法人専修大学寄附行為第23条第1項による選任区分	現員数
第1号 総長(寄附行為第5条の規定による推戴がある場合のみ)・学長・短期大学長	3
第2号 卒業生のうちから評議員会において選任された者	43
第3号 職員のうちから理事会において選任された者	22
第4号 学識経験者として、理事会において選任された者	10

(3) 顧問

現員数 2人

#### (4) 教 員

##### 専修大学

	専 任						兼任	任期制 助手	合計
	教授	准教授	講師	助教	助手	計			
経 済 学 部	58	13	3	0	0	74	117	0	191
法 学 部	43	19	1	0	0	63	116	1	180
経 営 学 部	35	19	0	0	0	54	94	0	148
商 学 部	49	20	3	0	0	72	109	1	182
文 学 部	63	16	3	0	0	82	157	1	240
ネットワーク情報学部	19	7	3	0	0	29	60	0	89
人 間 科 学 部	18	8	2	0	0	28	43	0	71
法 科 大 学 院	14	2	1	0	0	17	23	0	40
法学部・法科大学院 併 任	2	0	0	0	0	2	0	0	2
計	301	104	16	0	0	421	719	3	1,143

※学長は、法学部・法科大学院併任教授に含む。

※法学部専任教授及び法科大学院専任教授には、法学部・法科大学院併任教員2名は含まない。

※人間科学部兼任1名は、非常勤嘱託を兼ねており、それぞれに計上している。

※大学院任期制助手は、所属研究科の基礎となる学部の人数に含む。

※経済学部兼任には、大学院客員教員(経済学研究科)4名を含む。

※法科大学院兼任には、法科大学院客員教員16名を含む。

##### 石巻専修大学

	専 任						兼任	非常勤 助手	合計
	教授	准教授	講師	助教	助手	計			
理 工 学 部	43	14	2	2	1	62	41	4	107
経 営 学 部	19	11	0	3	0	33	24	0	57
計	62	25	2	5	1	95	65	4	164

※学長は、理工学部教授に含む。

※理工学部准教授には、特任准教授1名を含む。

※経営学部教授には、特任教授2名を含む。

※理工学部兼任には、特命教員3名及び客員教員4名を含む。

※経営学部兼任には、特命教員4名及び客員教員1名を含む。

##### 専修大学北海道短期大学

	専 任						兼任	合計
	教授	准教授	講師	助教	助手	計		
みどりの総合科学科	6	4	0	0	0	10	10	20
商経社会総合学科	12	1	0	0	0	13	9	22
計	18	5	0	0	0	23	19	42

※学長は、商経社会総合学科教授に含む。

※みどりの総合科学科兼任には、特命教員1名を含む。

#### (5) 職 員

##### 専修大学

区 分	人数
実 習 助 手	2
職 員	313
常 勤 嘱 託	40
特 別 嘱 託	4
非 常 勤 嘱 託	197
雇 員	68
計	624

##### 石巻専修大学

区 分	人数
職 員	28
常 勤 嘱 託	8
特 別 嘱 託	0
非 常 勤 嘱 託	4
雇 員	0
計	40

##### 専修大学北海道短期大学

区 分	人数
職 員	14
常 勤 嘱 託	0
特 別 嘱 託	0
非 常 勤 嘱 託	4
雇 員	0
計	18

※専修大学の非常勤嘱託には、社会知性開発研究センターPD(ポスト・ドクター)・RA(リサーチ・アシスタント)を含む。

※専修大学において非常勤嘱託を複数発令されている者は、発令件数分計上している。



## II 特記事項

### 1 東日本大震災に係る状況と対応(平成23年度)

#### 【学校法人専修大学】

#### (1)被災者支援に係る学費減免特別措置の実施

東日本大震災により甚大な被害に遭われた専修大学、石巻専修大学及び専修大学北海道短期大学の学生に対し、修学支援を目的とした学費減免に関する特別措置(家屋被害に係る支援：平成23・24年度/家計急変に係る支援：平成23年度)を講じた。

なお、本特別措置は、平成24年度入学生にも適用(家屋被害に係る支援：平成24・25年度/家計急変に係る支援：平成24年度)される。

#### (2)被災学生等支援金の募集

東日本大震災により甚大な被害に遭われた専修大学、石巻専修大学及び専修大学北海道短期大学の学生が継続して修学できるよう、支援金を募集し、被災した学生に対する学費減免に充てた。

#### 【専修大学・石巻専修大学】

#### (1)被災者支援スカラシップ入学試験の実施

東日本大震災により甚大な被害に遭われた受験生に対し、4年間の授業料及び施設費相当額を免除する「被災者支援スカラシップ入学試験」を実施した。実施学部・学科は、全学部・全学科であり、専修大学の入学手続者は、学部一部が18名、二部が1名、石巻専修大学は5名である。

なお、本制度は、平成25年度入学試験においても実施される。

#### (2)入学検定料(受験料)の免除

東日本大震災により被害に遭われた志願者に対し、平成24年度全入学試験を対象に、罹災(被災)の程度にかかわらず入学検定料を免除した。

#### (3)入学予定者に対する特例措置の実施

平成23年度入学予定者のうち、被災により修学が困難な者を対象として、「平成23年度入学予定者が平成24年度入学を希望する場合の入学手続に関する特例措置」を決定した。申請者については、平成24年度の入学を許可した。

#### (4)在学生に対する特例措置の実施

被災により修学が困難となり休学する者を対象に、「被災在学生が平成23年度の休学を希望する場合の休学者の学費に関する特例措置」を決定した。申請者については、平成23年度の学費を免除した。

#### 【専修大学】

#### (1)学生等に対する対応

##### ◆日本武道館における入学式中止と学事暦変更

平成23年4月5日に日本武道館において実施予定であった平成23年度入学式は中止し、4月11日から3日間、神田及び生田キャンパスで学部別に入学式を執り行った(大学院及び法科大学院は、4月5日に神田キャンパスで実施)。あわせて、学部の前期授業は2週間繰り下げ、4月25日から8月4日までとした(大学院及び法科大学院は、授業期間を変更せず)。

##### ◆履修届未了者及び学費未納者に関する特例措置

学事暦の変更に伴い、「平成23年度履修届未了者の取扱いに関する学部(一部・二部)の特例措置」を決定し、履修届の最終提出期限を取扱内規に定める5月末日から6月20日に繰り下げた。

また、「東日本大震災に伴う平成23年度前期学費未納者の取扱いに関する特例措置」を決定し、学費未納者の納入延期期限を6月30日から8月31日に繰り下げるとともに、被災が深刻な5県(青森・岩手・宮城・福島・茨城県)に在住している保護者に対しては、納入延期期限を9月20日とした。

##### ◆成績評価方法の変更

学事暦の変更に伴い、前期試験期間を授業期間としたため、定期試験による成績評価を予定していた授業科目は、授業内テスト、レポート等による成績評価に変更した。

#### (2)校舎・施設の状況

生田3号館は、損壊した部分の多くが補強による修復が難しい状況にあり解体工事を行った。これに伴い、隣接する4号館の各事務室(教務課、就職課、キャリアデザインセンター事務課、経理課、広報課)を10号館1階情報コアゾーンまたは図書館生田分館に一時移動させた。また、生田2号館の一部及び神田5号館は、安全確保の観点から使用を中止し、神田5号館配置のエクステンションセンター事務課及び入学課は、7号館に移動させた。

#### (3)その他

##### ◆節電対策

経済産業大臣が発動した「電気事業法第27条に基づく使用制限」に基づき、エスカレータの運転時間規制、共用部照明の半灯、空調温度設定の徹底、自動販売機照明の消灯、クールビズの実施等に取り組み、設定された電気使用量(前年同時期の使用最大電力から15%削減)を遵守した。

#### ◆ボランティア活動の実施

学生部及び「災害救援ボランティア講座」修了生で結成されたSKV(専修大学神田ボランティア)の有志を中心に、①4月2日から5日(災害救援ボランティア推進委員会協力)、②8月6日から9日、③8月9日から12日に石巻市でボランティア活動を実施した。また、SKVは、千代田区社会福祉協議会と連携を図り、4月の8日間、街頭募金ボランティア活動を行った。

#### ◆「専修大学から被災地のみなさんに本を届けよう！」プロジェクト

石巻市民に図書を無料頒布するため、図書館が教職員等に協力を募り、約6,000冊を収集した。このうち約1,900冊を石巻専修大学に送付し、平成24年3月17日から19日までの3日間、頒布会を実施した。

#### 【石巻専修大学】

##### (1)石巻専修大学・育友会合同追悼式の実施

石巻専修大学及び石巻専修大学育友会は、平成23年6月19日に「石巻専修大学・石巻専修大学育友会東日本大震災合同追悼式」を執り行った。ご遺族、育友会員、学生、教職員が出席し、震災により尊い命を亡くされた学生7名(入学予定者1名を含む)、父母8名、同窓会員1名のあわせて16名を慰霊した。

##### (2)学生等に対する対応

#### ◆学事暦の変更

平成23年4月4日に実施予定であった平成23年度入学式は、5月22日に延期し、前期授業は、5月20日から9月20日までとした。前期授業開始までの間は、各学部教務委員会が学生及び新入生に課題を課し、問合せ等に個別対応した。あわせて、経営学部は、大学と仙台市において臨時ゼミナールを実施した。

#### ◆授業時間の変更

JR仙石線等の復旧の見通しが立たず、学生の通学手段を確保することが困難であることから、「東北地方太平洋沖地震の発生に伴う平成23年度学事日程等の取扱いについて」(平成23年3月25日 文部科学省大学振興課事務連絡)に基づき、前期の授業時間を90分から75分に短縮した。後期についても交通事情が好転せず、同様の措置をとった。

#### ◆平成23年度学費振込用紙発送の延期及び学費納入期間の変更

在学する学生の多くが東北地方出身者であり、また、被災地域の復興状況を考慮した結果、平成23年度学費振込用紙の発送を、例年の3月下旬から①4月28日(対象：被災が深刻な5県(青森・岩手・宮城・福島・茨城)の沿岸地域を除く地域に居住する保護者)または②5月25日(対象：被災が深刻な5県(同上)の沿岸地域に居住する保護者)に延期した。

あわせて、学費納入期間を延長し、第1期分納入期限を6月30日、第2期分納入期限を8月31日とした。

#### (3)校舎・施設の状況

##### ◆被害の状況

校舎天井・壁の剥落、体育館排気ダクトの破損、インターロッキングの沈下等があったが、大学運営に支障をきたすほどの被害はなく、津波による被害も受けなかった。

なお、ライフラインは、震災直後全て停止し、復旧は、電気が平成23年3月20日、通信(NTT東日本)が3月22日、上下水道が4月4日、ガスが4月13日という状況であった。

##### ◆施設の提供

石巻市内の公的施設等の被災に伴い、次のとおり大学施設を提供した。

- ・避難所 平成23年3月11日～4月28日
- ・石巻市社会福祉協議会/石巻市災害ボランティアセンター 平成23年3月15日～11月30日
- ・石巻赤十字病院 平成23年3月15日～4月11日
- ・自衛隊(宿营地) 平成23年3月15日～5月10日
- ・石巻赤十字看護専門学校  
平成23年4月11日～平成24年3月31日

- ・宮城県石巻合同庁舎 平成23年4月7日～9月30日

※写真は、震災に係る石巻専修大学の支援に対して、平成24年2月13日に村井宮城県知事からの感謝状が贈呈された際の様子。



#### (4)復興共生プロジェクトの発足と活動

石巻専修大学では、被災地域の防災と復興に係る事業を行い、これを通じて大学の研究と教育の高度化を図る「復興共生プロジェクト」を平成23年4月に発足させ、宮城県や石巻市等と連携し、諸事業を展開している。



このプロジェクトのうち、①石巻圏域の産業復興、②石巻専修大学の防災能力強化、③復興関連情報の発信という3事業を推進させるべく、文部科学省の平成23年度「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」に、「石巻専修大学における復興共生プロジェクト推進のためのセンター的機能整備事業」を申請し、選定された。

また、石巻専修大学が加盟する学都仙台コンソーシアムも同整備事業に「復興大学」(申請大学：東北工業大学)というテーマで申請し、選定された。

被災地の最前線で活動する石巻専修大学は、地域復興のセンターとなり、地域とともに復興を目指す。

## (5) 東日本大震災1周年復興祈念イベントの開催

### ◆学内企画

「共創研究センターシンポジウム～共生社会をめざして～」
開催日：3月17日・18日 主 催：石巻専修大学共創研究センター
「震災復興記録集刊行記念フォーラム」
開催日：3月19日 主 催：石巻専修大学紀要編集委員会
「東日本大震災1周年追悼式」
開催日：3月19日 主 催：石巻専修大学・石巻専修大学育友会・石巻専修大学同窓会
図書館企画「東日本大震災」を図書館資料から知る
開催日：3月1日～30日(17日・18日を除く土・日曜日は休館) 主 催：石巻専修大学図書館
図書館企画「専修大学から被災地の皆さんに本を届けようプロジェクト」第1回「本の無料頒布会」
開催日：3月17日～19日 主 催：専修大学図書館・石巻専修大学図書館
「祈念モニュメント」除幕式
開催日：3月19日 主 催：石巻専修大学

### ◆学外協力企画

「谷村新司トーク&ライブキャラバン ココロの学校」
開催日：2月11日 主 催：宮城県ほか
「石巻専修大学学長杯フットサル大会 2012」
開催日：2月18日・19日 主 催：石巻サッカー協会
「東日本大震災犠牲者追悼特別演奏会」 —石巻市民交響楽団第38回定期演奏会—
開催日：3月25日 主 催：石巻市民交響楽団

※「Ⅲ 事業の概要」においても、東日本大震災に係る取り組みを掲載している。

## 2 トピックス

### 【専修大学】

#### 総務省「ホワイトスペース特区」に決定

福富忠和ネットワーク情報学部教授が提案した「生田キャンパス周辺エリアワンセグ情報配信サービス」が、平成23年4月8日、総務省により「ホワイトスペース特区」として決定した。

この決定を受け、8月28日に行われた川崎市の総合防災訓練に、福富教授及び藤原正仁同学部講師の研究室が参加。河川敷近くに中継局を設置し、キャンパス・コミュニティ放送「かわさきワンセグ」による音声と映像の配信に取り組んだ。



また、10月18日には、生田キャンパスで「かわさきFM」と「かわさきワンセグ」によるコラボレーション「かわさきワンセグキャンパスライブ」の公開生放送が行われた。

#### 広渡清吾法学部教授が日本学術会議会長に就任

広渡清吾法学部教授が、日本学術会議の会長に就任した。

平成23年7月11日に開催された第160回日本学術会議総会において選出されたもので、人文・社会科学系の会長は初となる。なお、任期は、同年9月30日まで。

広渡清吾：京都大学法学部卒。東京大学副学長等を経て、平成21年専修大学法学部教授。主な担当は、ヨーロッパ大陸法。専門は、基礎法学(ドイツ法、比較法社会論)。

#### 山中慎介世界チャンピオンが母校に凱旋

専修大学初のボクシング世界チャンピオンとなった山中慎介さん(平17商、帝拳ジム)が、平成23年12月8日に母校に凱旋し、日高義博理事長・学長やボクシング部の卒業生、部員から祝福を受けた。



山中さんは、11月6日、世界ボクシング評議会(WBC)バンタム級王座決定戦で、クリスチャン・エスキベル選手をTKOで破り、世界チャンピオンになった。

## 全日本大学サッカー選手権大会で初優勝

サッカー部は、平成24年1月5日に国立競技場で行われた「第60回全日本大学サッカー選手権大会」決勝戦で、明治大学を3-0で破り優勝した。同部が学生日本一となるのは創部以来初であり、全日本大学選手権初挑戦での優勝は快挙といえる。



スタンドに詰めかけた学生、校友、育友、関係者ら多くの観客が声援を送った。チャンスやピンチの度に、大きな声援がピッチの選手の背中を後押しし、オール専修の一体感を感じさせた。

## 震災から1年—シンポジウム「地域復興への大学の挑戦」の開催

東日本大震災から1年が経過する直前の平成24年3月3日、専修大学と毎日新聞社は、「地域復興への大学の挑戦～東日本大震災を乗り越えて～」と題したシンポジウムを、神田キャンパスで開催した。

坂田隆石巻専修大学長は、基調講演において「地域とともに大学が目指す復興構想」を明らかにした。



続いて、同大学の山本憲一理工学部教授が「津波による水没事故事例と対応」を、山崎泰央経営学部准教授が「震災復興における大学の役割～3つの貢献と2つの支援」をテーマに事例報告を行った。

さらに、「産官学連携による復興支援の可能性」をテーマとしたパネルディスカッションが展開され、坂田石巻専修大学長、大矢根淳専修大学人間科学部教授、板東久美子文部科学省高等教育局長、早川茂トヨタ自動車常務役員、岸井成格毎日新聞社主筆が活発に意見交換を行った(コーディネーター：城島徹毎日新聞社編集委員)。

## 【石巻専修大学】

### 「日本オペレーションズ・リサーチ学会」論文賞・事例研究賞をW受賞

原口和也理工学部助教は、日本オペレーションズ・リサーチ学会の秋期研究発表会において、論文賞と事例研究賞をW受賞した。いずれも原口助教の「湖水観測地点の配置問題」に関する研究が高く評価されたもの。なお、論文賞は、同学会の論文誌に過去1年間掲載された論文のうち、最も優れた論文1編に対して贈られる。この賞は平成23年に創設されたもので、記念すべき第1回目の受賞者となった。

### リチャード・ハルバーシュタット准教授が「前を向いて、歩こう。」を出版

リチャード・ハルバーシュタット理工学部准教授が『前を向いて、歩こう。「石巻のイギリス人」からのメッセージ』（サンマーク出版）を出版した。

余震と原発の不安が続くなか、帰国を取りやめ、第二の故郷・石巻へ戻った「石巻のイギリス人」が見た「3.11」の衝撃と、それからの長い時間を等身大で伝える体験記である。

石巻専修大学の英語教員として教壇に立つこと18年、地域に溶け込んだリチャード・ハルバーシュタット准教授による力強くあたたかい、復興への誓いが込められた一冊となっている。



### 『毎日希望奨学生』の勝又さんが共同記者発表に参加

『毎日希望奨学生』として採用され、支援を受けている勝又友章(理工学部2年次)さんが、平成24年2月7日に文化放送メディアプラスホールで行われた「風の子守歌プロジェクト」の共同記者発表に参加した。このプロジェクトは、日本が誇るシンガーソングライターの谷村新司さんと石井竜也さんが共作した歌「風の子守歌～あしたの君へ～」の印税を毎日希望奨学金に寄付し、東日本大震災の震災遺児を継続的に支援するという企画。

勝又さんは「大学や様々な方々の支援により、学業を続けられ、とても感謝している」と語った。  
※写真は、毎日新聞社提供。





### III 事業の概要

学校法人専修大学は、21世紀ビジョン「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」のもと、教育・研究体制の改革に取り組むとともに、「学生を基本に据えた大学づくり」を念頭に大学運営を行っている。

平成23年度は、「教育・研究力の強化」「教育研究環境の整備」「学生支援の充実」「社会地域貢献の推進」「経営基盤の強化」等8点を事業計画の重点事項に掲げ、これに基づく予算の効率的執行及び経常経費の節減により、教育の質向上に資する改革推進、修学環境や学生支援体制の充実強化を図った。

#### 主な事業の目的・計画及び進捗状況

##### 1 教育・研究力の強化

###### 【専修大学】

###### (1) 学部に関すること

###### ① 法学部(一部)のカリキュラム改正

法学部法律学科及び政治学科は、ユニバーサル段階に達した大学教育の現状に対応することを目指し、平成23年度入学者よりカリキュラム改正を行った。主な改正点は、次のとおり。

◆単位制度の実質化に資する卒業要件単位数の変更及び厳格な履修上限単位数の設定

◆従来と同じコース名を維持しつつ、必修・選択必修・選択科目の再編成、科目の改廃、配当年次の変更等の実施

◆初年次導入教育の充実に資する法律学科「基礎ゼミナール」の新設

なお、平成24年度からは、同学部全学年の学生が、神田キャンパスで授業を受けることとなる。

###### ② 文学部人文・ジャーナリズム学科における「協力講座」の開講

文学部人文・ジャーナリズム学科は、次の4科目について、外部機関とのコラボレーションにより、ジャーナリズムの最前線で活躍する人材を活用した協力講座(半期開講)として開講した。

配当	科目	協力機関	実施形態
LZ 2・3・4 年次	沖縄ジャーナリズム論	沖縄タイムス社	夏期休暇期間を利用した沖縄における現地集中実習(4泊5日で実施)
L 2・3・4 年次	国際ジャーナリズム論	毎日新聞社	特派員経験者や紙面でコラムを担当する編集委員によるオムニバス講義
L 2・3・4 年次	政治ジャーナリズム論	読売新聞社	政治部の国会担当記者や論説委員によるオムニバス講義
L 2・3・4 年次	報道写真論	社団法人 日本写真家協会	写真家によるオムニバス講義

LZ：文学部人文・ジャーナリズム学科配当 L：文学部7学科配当

###### ③ インターネットを用いた国際間授業の実施

文学部日本文学文化学科は、下記の大学とインターネットを利用した国際間リアルタイム遠隔授業及び相互授業を実施した。本授業は、日本の文学文化について、世界との連動性及びその独自性の理解と、日本人としてのアイデンティティの再認識を目的としている。

◆ドイツ フランクフルト大学

◆イギリス ケンブリッジ大学、  
ニューカッスル大学

◆アメリカ オレゴン大学、ペンシルバニア大学

◆カナダ ブリティッシュコロンビア大学、  
カルガリー大学

◆韓国 大田大学

◆台湾 輔仁大学

###### ④ キャリアノートのWeb化

専修大学は、学生の社会的・職業的自立に関する教育支援の一環として、キャリアノートのWeb化を図り、平成24年2月から入学予定者を対象に運用を開始した。Webキャリアノートには、学生生活の計画や振り返りの記録のほか、インターンシップや各種講座の情報提供及び申し込み、キャリアカウンセリングの予約などの機能が付加されている。



###### ⑤ 専修大学教育開発支援委員会による活動

専修大学教育開発支援委員会は、授業の内容及び方法の改善に資する組織的な研修及び研究を推進するため、次の活動に取り組んだ。

◆新任教員に対する教育支援説明会の実施  
(情報科学センター運営委員会との共催)

◆教育支援システム「RENANDI」利用説明会  
(情報科学センター運営委員会との共催)

◆「学生による授業評価」に関する懇談会の実施

◆TA(ティーチング・アシスタント)・授業補助員の採用と授業補助の推進

・平成23年度採用人数 TA：84名、授業補助員：320名

◆外部講習会、シンポジウム等への委員の派遣

- ・平成23年度FDワークショップ
- ・法政大学第9回FDシンポジウム
- ・第9回SDフォーラム
- ・平成23年度目白大学秋季公開講座
- ・第17回FDフォーラム

◆教育開発支援NEWSLETTER NO. 23・24の発行

⑥修学意欲の向上に向けた相談・指導等の実施

専修大学は、全学的な授業の半期化に伴い、成績不良者の早期把握が可能となったため、対象となる学生及び保証人に対して、通知、面談等を行った。この指導・支援を通じて、授業出席状況が改善された学生や、将来方向が明確になった学生があらわれている。また、メンタルヘルスケアを要する学生に対しては、学生相談室など諸機関が連携し、組織的な支援を講じた。

(2) 大学院に関すること

修士課程全研究科における共通講義科目「特殊問題特論」の開講

大学院は、研究・教育の国際化・学際化という社会的・時代的要請に応え、かつ社会知性開発研究センター等における最新の研究成果を、大学院の教育現場に直接反映させるべく、全研究科・専攻修士課程の共通授業科目(講義科目)として、「特殊問題特論(社会関係資本)」を開講した。平成24年度においても、中央教育審議会答申「グローバル化社会の大学院教育～世界の多様な分野で大学院修了者が活躍するために～」(平成23年1月31日付け)や文部科学省策定の「第2次大学院振興施策」(平成23年8月5日付け)を指針とした教育改革を推進する。

(3) 法科大学院に関すること

法科大学院教育の質向上に向けた改善の推進

法科大学院は、中央教育審議会大学分科会法科大学院特別委員会の平成21年4月17日付け「法科大学院教育の質の向上のための改善方策」に基づき、次の改善事項に取り組んだ。

- ◆入学者の質と多様性を確保するため、入学者選抜試験(法学未修者試験)を、I期・II期と2回実施。
- ◆受験者の質を確保するため、入学者選抜試験における出願資格に法科大学院適性試験による基準点を設定。

◆修了者の質を保証するため、各授業科目の目標・到達レベル(到達目標)を設定・導入。

◆教育力の強化を図るため、教授会の下にワーキンググループを設置し、特に未修者に対する教育内容、教育方法、単位認定などについて検討実施。

平成23年新司法試験合格者数等 (人、%)

出願者数	受験者数	最終合格者数	最終合格率
158	118	17	14.4

(4) 研究に関すること

① 研究プロジェクトの推進

社会知性開発研究センターは、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に選定された研究プロジェクトをはじめとする6研究拠点を稼働させた。

◆東アジア世界史研究拠点

「古代東アジア世界史と留学生」

◆社会関係資本研究拠点

「持続的発展に向けての社会関係資本の多様な構築：東アジアのコミュニティ、セキュリティ、市民文化の観点から」

◆心理科学研究拠点

「融合的心理科学の創成：心の連続性を探る」

◆フランス革命史料研究拠点

「『ミシェル＝ベルンシュタイン文庫』の史料学的研究」

◆都市政策研究拠点

「工業都市の再生と進化－川崎を機軸とした工業都市の比較研究」

◆中小企業研究拠点

「東アジア中小企業比較研究」

② 外部研究資金の獲得促進

専修大学は、平成23年10月25日に文部科学省が公表した「平成23年度科研費(補助金分・基金分)の配分」によると、科学研究費助成事業の新規課題採択率が41.1%(平均29.6%)となった。この採択率は、全研究機関中12位、私立大学では2位という高率であった。なお、新規採択と継続をあわせた採択率は62.5%(平均51.8%)で、全研究機関中21位であった。



### ③向井信夫文庫の設置

図書館は、平成23年4月1日に江戸期和本4,090作10,346冊及び一般図書4,585冊(図書4,442冊、雑誌15誌143冊)からなる向井信夫文庫を図書館本館に設置し、閲覧及びデジタル撮影サービスを開始した。江戸期和本としては、洒落本、滑稽本、噺本や人情本といった戯作(江戸後期小説)のほかに、漢詩文、狂詩・狂文、考証随筆、吉原関係、歌舞伎関係、絵本などがある。



※画像は、柳亭種彦の草双紙『修紫田舎源氏』(向井家江戸期和本コレクションから)

### (5)国際交流に関すること

#### ①新規留学プログラムの開設

専修大学は、留学期間を1学期相当期間とする「 Semester 交換留学」制度を開設した。8・9月に留学先へ出発し、12月下旬には帰国する本制度は、学生の経済的負担が軽減でき、就職活動にも対応できる特色がある。なお、派遣校は次のとおりである。

- ◆アメリカ ネブラスカ大学リンカーン校、  
サスケハナ大学、オレゴン大学
- ◆アイルランド ダブリン大学トリニティカレッジ
- ◆カナダ マウントアリソン大学

#### ②国際交流組織間協定校の拡充

商学研究所は、平成23年8月3日付けで、国民経済大学ビジネススクール(ベトナム)と組織間協定を締結した。さらに、社会科学研究所は、ベトナム社会科学院東北アジア研究所(ベトナム)と平成24年2月6日付けで、社会知性開発研究センター社会関係資本研究拠点も、ベトナム社会科学院社会学研究所(ベトナム)と2月7日付けで、それぞれ組織間協定方式による協定を締結した。

これら3協定の締結と既存のベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学との大学間協定により、ベトナムとの研究教育交流が一層促進される。

### 【石巻専修大学】

#### (1)組織に関すること

学部・学科改組等の検討

石巻専修大学の新学部設置及び理工学部改組による新学科設置等の骨子について、平成23年1月26日及び9月28日開催の理事会において審議し、承認した。さらに、新学部及び新学科の名称、カリキュラム、教員配置計画など具体的事項について、平成24年3月7日開催の理事会で審議し、承認した。

#### (2)教育改革に関すること

##### ①新たな教育目標の設定・実践

石巻専修大学は、「実践的な教育」を大学の教育目標として新たに設定した。

「実践的な教育」とは、学生の興味と向上心を喚起し、自然的・社会的・人間的事象の理解を深め、確実な学士力を養成するために、通常の講義科目に加えて、演習・実習・実験等の授業、地域の人的・物的資源を活用した授業等を数多く採り入れた教育、演習・実習を重視するというものである。

##### ②教育の質保証に向けた取り組み

石巻専修大学は、学部教育において厳格な成績評価を実施するため、平成24年度からGPAを本格導入する。平成23年度は、試験運用を図り、また、導入計画の一環として、『GPA制度の導入』をテーマとした教員セミナーを11月に開催した。

#### (3)研究に関すること

共創研究センターの事業推進

共創研究センターは、石巻市との連携事業として、地域課題の解決、受託研究、研究プロジェクトの企画、調査・研究の推進に取り組んでおり、平成23年度は、東日本大震災に係るテーマを含む次の10件の研究課題を採択した。

- ◆「石巻専修大学・東日本大震災デジタルアーカイブ制作のための調査研究」
- ◆「牡鹿半島に生息するニホンジカの北上ルートの解明」
- ◆「石巻地域における東日本大震災後の教育および教育支援に関する調査研究」
- ◆「換金作物による農地の塩害および重金属汚染の除去ならびに農家の収入確保に関する研究」
- ◆「東日本大震災の被災地石巻圏における復興初期のボランティア・ツーリズムの円滑な実施のための条件の研究」

- ◆「東日本大震災の津波による自動車災害の発生状況調査」
- ◆「石巻ボランティア情報センターの設立・運営による石巻市復興支援の実証的研究」
- ◆「生活活動量を基軸とした健康介入プログラムが石巻市高齢者の健康管理度と自己効力感に与える影響」
- ◆「有用海産微細藻類の大量培養に関する応用研究」
- ◆「エンジョイ・スーパーサイエンス」

## 2 教育研究環境の整備

【専修大学】

### (1) 新Web履修登録システムの稼働

専修大学は、平成22年度に新Web履修登録システムの開発を完了させ、平成23年度からサービスを開始した。本システムは、教学事務システムと密接に連携させたことで、カリキュラム情報などの二重管理がなくなり、事務処理効率が向上した。また、前システムの課題であった利用集中時(高負荷時)の対応も、処理性能の向上、ログイン制御及び負荷分散の最適化などで大幅に改善された。あわせて、Web上で自身の履修科目や学業成績が確認できるサービスを開発し、平成24年3月23日から稼働させた。

### (2) 学術機関リポジトリの稼働

専修大学は、国立情報学研究所が開発する「WEKO」による学術機関リポジトリシステムの構築・導入を行い、図書館によるコンテンツ登録作業を経て、平成23年4月1日からサービスを開始した。本システムは、専修大学の知的生産物(学術雑誌に掲載された論文、報告書、学位論文など)を電子資料として収集、保管、管理し、広く国内外に発信、公開するもので、本学の知的貢献の機会は一層拡大される。なお、本システムの愛称は、公募の結果、「SI-Box」に決定した。

### (3) キャンパス将来構想の検討

専修大学キャンパス構想検討会議は、キャンパス整備及びキャンパスのありようを検討するため、平成23年7月20日に、日高義博理事長の下に設置された。本会議は、短期的に解決すべき課題の検討を通じて、神田5号館を速やかに建替える必要があるとの結論に達した。

新神田5号館(仮称)には、1～3階に学生ラウンジ、メディアラウンジ、学習スペース(自習・ディスカッションルーム)を配し、4～7階は収容定員120人または240人の教室を設けることを構想している。

### (4) 国際交流会館(仮称)の新築

専修大学キャンパス構想検討会議は、懸案の国際交流会館(仮称)の新築について、建設予定地の再考も含め、検討を重ねた。その結果、生田キャンパスに至近の校地に建設することを確認した。建設に係る基本設計は完了していることから、実施設計及び行政協議等を進め、平成24年度中の工事の着手を目指す。

【石巻専修大学】

### 教学事務システムの再構築

専修大学及び石巻専修大学は、「専修大学事務総合情報システム」の全面的な再構築計画の最終段階である2大学統合の教学事務システムを構築し、平成23年11月7日から本稼働させた。あわせて、教員がWebで採点入力を行う機能を開発し、平成24年1月20日から利用が可能となった。

## 3 学生支援の充実

【専修大学】

### (1) インターンシップに係る支援強化

専修大学は、川崎市との連携により、企業、自治体、NPO法人などが抱える課題に、学生が調査、分析、解決策の提案を行う



「課題解決型インターンシップ」を実施している。平成23年度は、16の課題に延べ273人の学生が取り組んだ。また、新たな試みとして、事前学習の「企画書講座」「チームビルディング講座」、事後学習の「振り返り会」を実施し、体系的なプログラムとすることで、学びの定着化を図った。あわせて、成果発表の場として、「ポスターセッション」「情報交換会」を開催した。

## (2) 資格取得支援講座の強化

専修大学は、難関試験対策3講座(法律総合講座、会計士講座、公務員試験講座)について、合宿指導や個別指導の体制を強化させるなど、合格者の増加に向けたカリキュラムの改良に取り組んだ。なお、平成23年度の実績は、法科大学院進学者20名、公認会計士試験合格者15名(在学学生6名)、国家公務員採用Ⅰ種試験合格者2名(在学学生2名)、同Ⅱ種試験合格者26名(在学学生17名)となっている。

## (3) 就職支援の強化

専修大学は、きめ細やかな就職相談体制を整備するため、年間を通じて生田・神田両キャンパスにキャリアカウンセラーを配置したほか、就職相談の最盛期や学生の進路決定状況に応じて、適宜、カウンセラーを増員した。また、厚生労働省が設置した学生職業総合支援センターや、神奈川県中小企業家同友会等と連携を図り、模擬面接や企業説明会を実施した。

## (4) 学生部セミナーの実施

学生部は、新時代を担う国際人を養うべく、平成24年3月4日から11日までの7泊8日で、国際交流協定校の中山大学(台湾)を訪問する学生部セミナーを実施した。中国語の事前研修3回及びオリエンテーション3回を経て、16名の学生が参加し、帰国後の3月19日には報告会が行われた。

## (5) カレッジスポーツの強化

専修大学は、カレッジスポーツの強化方策として、指導体制の整備・充実に取り組んだ。平成24年度からは、ラグビー部監督に本学卒業生で、7人制ラグビー日本代表監督の村田互氏が就任し、陸上競技部監督には、株式会社カネボウ陸上競技部前総監督の伊藤国光氏が就任する。また、平成24年度には、「スポーツ戦略検討会議」を設置し、本学の新たなスポーツ戦略のあり方を検討していく。

### 【石巻専修大学】

#### (1) 会計専門職養成の強化

石巻専修大学は、経営学部が「会計学入門」を1年次生の必修科目として開講しており、加えて、税理士等会計専門職養成のための導入講座「日商簿記試験対策講座」を実施した結果、「日商簿記試験1～3級」の合格者が34名(前年度15名)となった。

## (2) 就職支援の強化

石巻専修大学は、東日本大震災による就職活動への影響が懸念されるなか、「企業200社への採用方針電話ヒアリング調査(4月)」、「合同企業説明会(5月)」、「就職支援バスツアー(7・8月)」などを実施し、学生の就職活動を一層支援した。さらに、専修大学就職部の協力により、



①首都圏における支援環境整備に資する就職支援システム「IS-net」の導入と、②同就職部主催「総合就職合宿研修会」への学生派遣(9名)が実現した。

## (3) 通学支援バスの充実強化

石巻専修大学は、東日本大震災の影響により、JR仙石線多賀城駅を起点とする通学支援バスを新たに運行した。また、通学の経路と手段について、実態把握調査を実施するとともに、JR東北本線鹿島台駅からの通学支援バスの運行を、平成24年1月6日から試行している。

## 4 社会地域貢献の推進

### 【専修大学】

#### (1) 地方自治体との連携促進

①KS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネス・アカデミーの開講

大学院経済学研究科は、平成20年度文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に選定され、5期に亘って展開した「KS(川崎・専修)コミュニティ・ビジネス・アカデミー」の実績を土台に、「KS(川崎・専修)ソーシャル・ビジネス・アカデミー」を開講した。平成23年度は、第1期生としての正規受講生24名と、科目等履修生5名に対してプログラムを展開し、20名が修了した。



#### ②多摩区・3大学連携事業の推進

専修大学は、平成17年12月に川崎市多摩区及び区内2大学(明治大学・日本女子大学)と「多摩区・3大学連携協議会」を設立し、地域社会との連携強化に努めている。平成23年度は、ネットワーク情報学部の上平崇仁准教授及び栗芝正臣准教授が企画提案した「多摩区の自然環境への理解を深める体験型学習コンテンツの開発」が、多摩区・3大学連携事業として委託を受けた。

また、多摩区役所からの要請により、「プレ多摩区制40周年記念 三大学知的探訪」の一環として、「専修大学のあゆみ、多摩区のあゆみ」をテーマとした講演会を開催した。

### ③千代田区への貢献活動推進

専修大学は、千代田区と締結している基本協定に基づき、平成24年3月9日に区が実施した「一斉防災訓練」において、帰宅困難者受入訓練を実施した。あわせて実施された「日本版シェイクアウト訓練」には、学生37名及び職員105名が取り組み、危機管理意識の向上を図った。



また、地域と専修大学との繋がりを更に深めるべく、千代田図書館との共同企画展「東京都交通局開局100年記念特別展示 千代田区にも路面電車が走っていた！」を、平成23年11月28日から12月24日まで千代田図書館で開催した。

### (2) 専修大学カップの開催

専修大学は、地域(神奈川県)の子供たちの健全育成支援を目的として、平成18年から神奈川県野球連盟との共催により、「専修大学カップー神奈川県学童軟式野球選手権大会ー」を開催している。平成23年度は、8月4日に横浜スタジアムで開会式を行い、県内54チームが6・7・9日の3日間、トーナメント方式で熱戦を繰り広げた。

### (3) 専修大学体育会による地域貢献

専修大学体育会は、地域貢献活動の一環として、22競技部(全学応援団チアリーダーを含む)によるスポーツ教室



「ONE DAY TEAMMATE」(川崎市教育委員会との連携事業)を夏期休暇期間を中心に開催し、地域の小中高生延べ506名が参加した。

また、清掃活動「Clean Town」を平成23年7月2日に実施し、一般参加者を含めた414名が、多摩川河川敷などを清掃した。

### 【石巻専修大学】

#### (1) ワークショップ「共生プラザ」の開催

共創研究センターは、サテライトキャンパス企画として、東日本大震災からの復興に係る状況報告と意見交換を目的とする「共生プラザ」を次のとおり開催した。



	開催日	テーマ
プラザ1	8月19日	「減災の観点から考える我町の防災マップ」
プラザ2	8月26日	「人が集まる魅力をつくろうー子供達のサッカー大会の開催」
プラザ3	9月30日	「地域再生=ビジネス・チャンスについて語る」
プラザ4	10月28日	「太陽電池パネル導入に関する問題について語る」
プラザ5	12月16日	「地域の気持ちをひとつにする」

#### (2) 教員・学生による地域再興への貢献

- ◆石原慎士経営学部准教授は、①石巻市水産加工会社による八戸市水産加工会社への製造委託(OEM:相手先ブランドによる生産)の仲介、②消費者に魚の放射線量を知らせるシステムの開発、③学生や地元商店街と「サバだしラーメン」の共同開発などに取り組んだ。
- ◆経営学部学生(山崎泰央経営学部准教授ゼミ生)は、株式会社モビーディック(石巻市)と連携し、仮設住宅に住む被災者に、在宅ワークを提供する新事業を推進した。
- ◆李東勲経営学部准教授は、高崎経済大学や高崎市などによる石巻市水産加工施設の無償強度診断などを仲介した。

#### (3) 産学連携の推進

IM(石巻マシン)プロジェクトは、平成20年5月に結成され、山本憲一理工学部教授(自動車工学センター長)が顧問を務めている。同プロジェクトは、平成24年1月19・20日にトヨタ自動車株式会社本社(愛知県)で開催された「とうほく6県新技術・新工法展示商談会」に、被災を乗り越え開発した「香り長持ちインテリジェント芳香器」を出典した。企業との共同開発も決定しており、今後は製品化に繋げる。

#### (4) 高大連携の推進

石巻専修大学は、高等学校と大学の相互連携協力による魅力ある教育の実現を図るため、平成23年11月2日に石巻市立女子高等学校と、平成24年3月21日に宮城県石巻西高等学校との間で高大連携に関する協定を締結した。この締結により、石巻専修大学の協定締結は6校となった。

### 5 知の発信及び広報活動の強化

#### 【学校法人専修大学】

#### 創立130周年記念映画の上映

学校法人専修大学は、

創立130周年記念映画

「学校をつくろうーその時、  
若者たちは未来を見たー」

(文部科学省選定、

厚生労働省社会保障審議会推薦)を全国の劇場・ホール等で上映した。累計の来場者数は、16,269名であった(東日本大震災により被災された方については、延べ655名を無料招待した)。なお、本作品はDVD化され、平成23年11月1日より販売が開始された(平成24年3月9日からはレンタルも開始)。



#### 【専修大学・石巻専修大学】

#### 社会知性フォーラムの開催

専修大学及び石巻専修大学は、東日本大震災からの復興の要石として役割を果たしてきた石巻専修大学において、「社会知性フォーラム」を平成23年11月5日に開催した。このフォーラムは、「社会知性の開発」に基づく知の発信の場として、平成22年度から開催しており、2回目となる今回は、田邊祐司専修大学文学部教授及び高崎みつる石巻専修大学理工学部教授が、それぞれ「3Dの英語学習法ー音読を中心にー」、「自然界に働く力の利用ー可能性を研く」をテーマに講演した。

#### 【専修大学】

#### (1) 田尻稲次郎展の開催

専修大学は、鹿児島県歴史資料センター黎明館との合同企画展「日本の財政学を築いた薩摩藩士～専修大学創立者・田尻稲次郎の生涯～」を、平成23年11月22日から平成24年1月9日まで鹿児島県歴史資料センター黎明館で開催し、2,028名が来場した。



本展示では、本学創立者の一人であり、鹿児島が生んだ偉人・田尻稲次郎(1850～1923)の生涯と、日本近代という時代に財政学が国家形成に果たした役割を紹介した。

#### (2) SI Librettoの刊行

専修大学は、SI Libretto第5弾『読書と人生 刑法学者による百学百話』(日高義博理事長・学長著)を平成23年7月に刊行した。なお、本書の売上は、東日本大震災の被災学生支援のため、「専修大学教育研究振興協力資金」に充てられる。

#### (3) 大学ホームページの全面リニューアル準備

専修大学は、平成24年度の大学ホームページ全面リニューアルに向け、委託企業選定などの準備を進めた。リニューアル後のホームページは、①FAQ機能、カレンダー機能及びソーシャルメディア(ツイッター)の導入により、アクセシビリティやユーザビリティの向上が期待でき、②東京都と大阪府の堅牢な施設に外部サーバを設けることで、緊急時においても情報公開が可能となる。

#### (4) 学生募集力の強化

専修大学は、パーソナル広報企画(受験生応援Webマガジン「just for」)を平成23年7月1日から開設した。この広報企画は、



①個々の受験生の興味関心に応じた情報を定期的・継続的に配信できる、②Webがベースのため、常に受験生の動向に合わせた最新の情報を配信できる、③個々の受験生の行動分析結果により、距離にとらわれず直接的に広報できるといった特性を有する。

#### 【石巻専修大学】

#### 教育研究活動の情報公開

石巻専修大学は、教育研究活動等の情報を公開する一環として、平成22年度から教育研究上の目的・基本組織、教員の研究業績等を、大学ホームページに掲載している。平成23年度は、公開内容の拡大を図るべく、『研究教育社会活動報告書』(自己点検・評価報告書)の全項目を大学ホームページに掲載した。

## 6 校友会・育友会との連携

### 【専修大学校友会】

#### 東日本大震災被災学生等への支援

専修大学校友会は、学校法人専修大学に対し、「被災学生等支援金」として1,430万円を寄付した。あわせて、校友会事業の開催時に、支援金の協力を呼び掛けた。

### 【専修大学育友会】

#### (1) 東日本大震災被災学生等への支援

専修大学育友会は、学校法人専修大学に対し、「育友会震災救済支援金」として1億円を寄付した。また、支部懇談会をはじめとする諸行事・会議開催時に「支援金箱」を設置し、学校法人専修大学への支援金の協力を呼び掛けた。

#### (2) 修学支援相談会の開催

専修大学育友会は、平成23年7月中旬から10月下旬にかけて、東日本大震災により被災された青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島(中通り・浜通り・会津)・茨城(水戸・県南)支部において、「修学支援相談会」を開催した。会員の出席者数は312名、同伴者を含めると420名であった。

### 【石巻専修大学育友会】

#### 臨時支部懇談会の開催

石巻専修大学育友会は、平成23年4月23・24・30日及び5月1日に、東北6県9会場において、「臨時支部懇談会」を開催し、キャンパスの安全性、教育、学生生活、就職支援等について説明を行った。会員の出席者数は497組968名であった。

## 7 専修大学北海道短期大学の学生募集停止に伴う対応

### 【学校法人専修大学】

#### (1) 教育条件の維持に関すること

学校法人専修大学は、専修大学北海道短期大学に在学する全ての学生が平成23年度に卒業できるよう、教育条件の維持に努め、135名が卒業した。留年が決定し、修学の継続を希望する4名については、平成24年度においても、卒業に向けた支援を行う。

#### (2) 校地及び施設に関すること

学校法人専修大学は、専修大学北海道短期大学の校地及び施設について、美唄市と3回意見交換会を実施した。平成23年12月22日には、美唄市長から要望書が提出されており、今後、検討に取り組む。

## 8 持続的発展に向けた取り組み

### 【学校法人専修大学】

#### (1) 教育研究振興協力資金の募集

学校法人専修大学は、平成22年4月から3年計画で教育研究振興協力資金の募集を開始し、募金活動を推進した。

##### ◆募金目的

- ①教育研究の充実
- ②教育施設設備の整備拡充
- ③奨学金制度の充実
- ④学生スポーツ活動の振興
- ⑤その他

##### ◆募金活動内容

平成23年度は、東日本大震災被災学生等支援金の募集を行い、特別寄付金として受け入れた。また、経営学部が、学部学生の教育充実を目的として寄付の募集を行った。

##### ◆募金応募状況

(平成22年4月1日～平成24年3月31日)  
3,223件／403,502,237円

#### (2) 外部資金の確保

##### ◆私立大学等経常費補助金

〔日本私立学校振興・共済事業団〕

【専修大学】1,477,230千円

【石巻専修大学】866,602千円

※上記補助金には、東日本大震災の支援に係る次の補助金が含まれる。

- ・教育研究活動復旧費
- ・学費減免に対する経常費補助
- ・被災私立大学等復興特別補助

##### ◆選定された事業及びプログラム

【専修大学】6件

##### ・学術研究振興資金

〔日本私立学校振興・共済事業団〕

・大学改革推進等補助金(「学生支援推進プログラム」「大学生の就業力育成支援事業」)

〔文部科学省〕

・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業  
〔文部科学省〕

- ・千代田学  
〔千代田区〕
- ・大学発・政策提案制度  
〔神奈川県〕

【石巻専修大学】3件

- ・大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業(2件)  
〔文部科学省〕

※詳細は、10ページ「(4)復興共生プロジェクトの発足と活動」を参照。

- ・復興教育支援事業  
〔文部科学省〕

◆選定された私立学校施設整備費補助金  
〔文部科学省〕

【専修大学】4件

- ・ICT：生田教育研究用ネットワーク工事
- ・耐震：生田1号館耐震改修工事
- ・耐震：生田会館耐震改修工事
- ・耐震：生田女子体寮耐震改修工事

◆選定された私立大学等研究設備費等補助金  
〔文部科学省〕

【専修大学】2件

- ・特定図書：Der Deutsche Volkswirt:  
Zeitschrift für Politik und Wirtschaft.
- ・特別設備：マルチパッチクランプ電気生理実験装置

◆私立学校建物其他災害復旧費補助金  
〔文部科学省〕

【専修大学】2件

- ・生田校舎及び神田校舎
- 【石巻専修大学】1件
- ・石巻専修大学

【専修大学】

キャンパス・ハラスメント対策室の設置

専修大学は、大学の構成員が快適に勉学し、労働し、研究する環境を保持するための支援組織として、平成23年4月1日にキャンパス・ハラスメント対策室を設置した。あわせて専任の担当者2名を配置し、相談受付業務の充実を図るとともに、発生の未然防止と、発生時に適切な措置を講ずるための活動にあたっている。



## IV 決算の概要

### 1 資金収支計算書

〔概要〕

収入の部では、当年度収入合計が予算比1.08%増の252億2,525万円（前年度比では12.52%の減）となり、前年度繰越支払資金を加えた収入の部合計では、予算比0.77%増の350億6,771万円となっている（前年度比では11.35%の減）。

支出の部では、当年度支出合計が予算比0.43%減の256億705万円（前年度比では13.83%の減）で、次年度繰越支払資金は、翌年度の収入となる前受金収入を含み94億6,065万円となっている（前年度比では3.88%の減）。

資金収支計算書（概要） 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで （単位：千円）

収入の部				
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等納付金収入	20,267,982	20,301,055	△ 33,073	3月末日在籍者数は21,925人
手数料収入	973,666	1,142,856	△ 169,190	志願者数は40,902人
寄付金収入	250,000	314,668	△ 64,668	教育研究振興協力資金
補助金収入	2,374,903	2,710,179	△ 335,276	私立大学等経常費補助金 ・専修大学 14億7,723万円 ・石巻専修大学 8億6,660万円 (内、被災学生への 学費免除補助 4億2,005万円)
資産運用収入	210,046	231,609	△ 21,563	私立学校建物其他災害復旧費補助金 ・専修大学 1億2,648万円 ・石巻専修大学 1億2,479万円
資産売却収入	200,000	0	200,000	
事業収入	422,600	425,181	△ 2,581	寮・セミナーハウス・相馬記念会館の 利用料等を含む
雑収入	1,068,930	1,075,350	△ 6,420	
前受金収入	3,870,638	4,026,624	△ 155,986	平成24年度入学生の 入学手続時の納入学費
その他の収入	366,699	366,972	△ 273	
資金収入調整勘定	△ 5,049,015	△ 5,369,247	320,232	本年度末において収納できなかった 未収入金や前年度に先立って受入れた 前受金等
当年度収入合計	24,956,449	25,225,251	△ 268,802	
前年度繰越支払資金	9,842,459	9,842,459		
収入の部合計	34,798,908	35,067,711	△ 268,802	
支出の部				
科目	予算	決算	差異	
人件費支出	15,266,745	15,193,439	73,305	
教育研究経費支出	6,125,113	6,079,504	45,608	教育・研究の活動に要する経費
管理経費支出	1,546,922	1,648,259	△ 101,337	法人業務・学生募集等に要する経費 ・被災した志願者に対する 入学検定料免除(1億3,069万円)を含む
借入金等利息支出	31,389	31,388	0	借入金の残高は27億9,717万円
借入金等返済支出	787,760	787,760	0	
施設関係支出	642,810	564,607	78,202	
設備関係支出	480,043	510,766	△ 30,723	
資産運用支出	1,396,750	1,226,475	170,274	
その他の支出	1,146,669	1,357,070	△ 210,401	このうち前払金支払支出では、主として 洋雑誌購入手納金として約5,400万円
[予備費]	(0)		150,000	
資金支出調整勘定	△ 1,855,549	△ 1,792,218	△ 63,330	本年度末において支払えなかった 未払金や前年度に先立って支払った 前払金等
当年度支出合計	25,718,652	25,607,053	111,598	
次年度繰越支払資金	9,080,256	9,460,657	△ 380,401	
支出の部合計	34,798,908	35,067,711	△ 268,802	

※千円単位で表記するにあたり、千円未満を切り捨てているため、合計等において差異が生じる場合がある。



〔 内 容 〕

(1)収入の部

- ①学生生徒等納付金収入は、予算比0.16%増の203億105万円（前年度比では3.03%の減）。最終在籍者数が専修大学で20,014人、石巻専修大学で1,772人、北海道短期大学で139人となり、全体では21,925人。最終在籍者数は、前年度と比べ、全体で544人の減となっている。
- ②手数料収入は、予算比17.38%増の11億4,285万円（前年度比では0.83%の増）。このうち、入学検定料収入は、予算比18.02%増の11億277万円（前年度比では1.26%の増）。入学志願者数が予算と比べ専修大学で7,352人の増、石巻専修大学で156名の減となっている。
- ③寄付金収入は、予算比25.87%増の3億1,466万円（前年度比では254.22%の増）。東日本大震災により被災した学生に対する支援金の増等となっている。
- ④補助金収入は、予算比14.12%増の27億1,017万円（前年度比では26.06%の増）。このうち、国庫補助金収入は、予算比14.42%増の26億9,399万円（前年度比では27.03%の増）。内訳は、経常費補助金が23億4,383万円（前年度比では15.70%の増）、教育研究装置補助金が1,415万円、施設高度化利子助成金が205万円、大学改革推進等補助金が7,628万円、施設災害復旧費補助金が2億5,127万円となっている。
- ⑤資産運用収入は、予算比10.27%増の2億3,160万円（前年度比では18.10%の減）。このうち、受取利息・配当金収入は、予算比20.63%増の1億1,482万円（前年度比では37.21%の減）。
- ⑥資産売却収入は、有価証券売却収入で、平成23年度は売却を行っていない。
- ⑦事業収入は、予算比0.61%増の4億2,518万円（前年度比では9.25%の減）。差異は、石巻専修大学における学生支援バス回数券購入の増等による。
- ⑧雑収入は、予算比0.60%増の10億7,535万円（前年度比では145.32%の増）。差異は、専修大学・石巻専修大学における科学研究費補助金の間接経費の増等による。

⑨前受金収入は、平成24年度入学者の入学手続時における納入学費（翌年度の学生生徒等納付金収入となる。）で、40億2,662万円。その他の収入は、前期末未収入金収入、貸付金回収収入等で3億6,697万円。資金収入調整勘定（収入の振替控除科目）は、期末未収入金及び前期末前受金で53億6,924万円となっている。

(2)支出の部

- ①人件費支出は、予算比0.48%減の151億9,343万円（前年度比では7.59%の増）。差異は、休職者・育児休業者等の増に伴う本給の減、臨時雇員の採用減等による。
- ②教育研究経費支出は、予算比0.74%減の60億7,950万円（前年度比では12.90%の増）。予算比増減の主なものの決算額、要因等は以下のとおり。
  - ・消耗品費支出：3億8,602万円（1,486万円の減）  
ネットワーク情報学部におけるソフトウェアおよび物品購入の減等による。
  - ・旅費交通費支出：2億2,669万円（2,600万円の減）  
石巻専修大学における個人研究費に係る旅費の減ならびに高速道路無料化に伴う通学支援バス交通費の減等による。
  - ・奨学費支出：10億6,831万円（1億3,959万円の増）  
被災学生に対する学費減免奨学金の増等による。
  - ・補助費支出：2億3,795万円（1,171万円の減）  
ゼミナール等援助金申請の減、石巻専修大学における個人研究費費目変更等に伴う減等による。
  - ・修繕費支出：2億6,520万円（2,544万円の増）  
神田校舎地下学生ホール、体育室、教員室改修工事、生田校舎電気設備、空調設備、給排水設備等修理保全の増等による。
  - ・委託費支出：16億2,510万円（1億152万円の減）  
神田校舎5号館解体工事の延期、各所管派遣業務の委託費減等による。
  - ・謝礼費支出：9,826万円（1,730万円の減）  
外部講師招聘の減、教育実習謝礼金辞退校増に伴う減等による。

③管理経費支出は、予算比6.55%増の16億4,825万円（前年度比では7.74%の減）。

予算比増減の主なものの決算額、要因等は以下のとおり。

・委託費支出：3億9,548万円（2,981万円の減）

神田校舎5号館解体工事の延期、各所管派遣業務の委託費減等による。

・雑費支出：1億8,593万円（1億5,426万円の増）

被災した志願者に対する入学検定料免除額を計上したこと等による増

④借入金等利息支出は、3,138万円。神田校舎隣接地購入に伴う借入金利息を含んでいる。

⑤借入金等返済支出は、予算どおりで7億8,776万円。神田校舎隣接地購入に伴う借入金の償還分を含んでいる。

⑥施設関係支出は、予算比12.17%減の5億6,460万円（前年度比では89.32%の減）。

このうち土地支出は、旧板硝子会館他解体工事を延期したこと、また建設仮勘定支出は、（仮称）国際交流会館の設計監理を見送ったこと等による減となっている。

※⑥の主な内容については、後記の〔主な施設等整備事項〕に記載。

⑦設備関係支出は、予算比6.40%増の5億1,076万円（前年度比では73.94%の減）。

このうち、教育研究用機器備品支出は、予算比11.46%増の2億9,716万円で、差異は、石巻専修大学における災害復旧費補助金による機器備品の購入等となっている。

⑧資産運用支出は、予算比12.19%減の12億2,647万円（前年度比では21.57%の減）。

退職給与引当資産への繰入支出が5,000万円、法人基金準備資産への繰入支出が1億円、施設設備準備資産への繰入支出が10億円となっている。

⑨その他の支出は、前期末未払金支払支出、前払金支払支出等で13億5,707万円。予備費の使用額はない。また、資金支出調整勘定（支出の振替控除科目）は、期末未払金及び前期末前払金で17億9,221万円。

〔主な施設等整備事項〕

#### 専修大学

①神田1号館エレベーター3号機更新工事

②神田2・3号館1階広場可動屋根及び可動庇設置工事

③生田3号館解体に伴う生田4号館受水槽新設工事

④生田7号館空調設備改修工事・電気設備工事

⑤生田会館1階電気室高圧配電盤改修工事

⑥生田総合体育館アリーナ水銀灯改修工事

⑦震災による生田校舎中央監視設備切替え工事

⑧震災による生田食堂棟地下1階受変電設備新設工事

⑨震災による生田食堂棟3階他復旧に伴う電気設備・空調設備・衛生設備設営工事

⑩震災による生田校舎学内ネットワーク配線切替え工事

⑪震災による生田3号館解体に伴う道路拡幅工事

#### 石巻専修大学

①2号館教室パッケージエアコン新設工事

②4号館教室パッケージエアコン工事

③熱源改修工事

④台船復旧工事

## 2 消費収支計算書

### 〔概要〕

消費収入の部では、帰属収入合計（学校法人の負債とされない収入）が予算比2.68%増の264億652万円となった〔前年度比では2.60%（6億6,970万円）の増〕。基本金組入額合計が、予算比4.09%増の10億4,830万円（前年度比では66.09%の減）となり、消費収入の部合計は、予算比2.62%増の253億5,821万円〔前年度比では11.98%（27億1,282万円）の増〕となった。

#### 基本金組入額合計の内訳

- 第1号基本金 10億232万円の組入（当年度取得資産及び借入金返済等の組入額）
- 第2号基本金 当年度組入額なし（将来取得する固定資産の取得に充てる預金等の資産の組入額）
- 第3号基本金 4,598万円の組入（学術奨励基金引当資産等の組入額）
- 第4号基本金 当年度組入額なし（恒常的に保持すべき資金として定められた額の組入額）

消費支出の部では、消費支出の部合計が予算比0.31%減の254億7,724万円〔前年度比では12.87%（37億6,490万円）の減〕。

当年度消費収支差額は、1億1,903万円の消費支出超過額（前年度は65億9,676万円の消費支出超過額）となった。前年度繰越消費支出超過額を加えた翌年度繰越消費支出超過額は、249億4,534万円となっている。

消費収支計算書（概要） 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで （単位：千円）

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	20,267,982	20,301,055	△ 33,073
手数料	973,666	1,142,856	△ 169,190
寄付金	400,100	520,289	△ 120,189
補助金	2,374,903	2,710,179	△ 335,276
資産運用収入	210,046	231,609	△ 21,563
事業収入	422,600	425,181	△ 2,581
雑収入	1,068,930	1,075,350	△ 6,420
帰属収入合計	25,718,227	26,406,522	△ 688,295
基本金組入額合計	△ 1,007,144	△ 1,048,307	41,163
消費収入の部合計	24,711,083	25,358,214	△ 647,131

資金収支計算書における収入の部と共通の科目（寄付金は現物寄付金等を含んでいる）

計画的組入が可能なのは、第2号基本金と第3号基本金

消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	14,764,438	14,676,305	88,132
教育研究経費	8,659,072	8,640,122	18,949
管理経費	1,790,513	1,894,119	△ 103,606
借入金等利息	31,389	31,388	0
資産処分差額	161,116	235,311	△ 74,195
[予備費]	(0)	150,000	150,000
消費支出の部合計	25,556,528	25,477,247	79,280
当年度消費支出超過額	845,445	119,032	
前年度繰越消費支出超過額	24,826,312	24,826,311	
翌年度繰越消費支出超過額	25,671,757	24,945,343	

資金収支計算書の同科目のうち、退職金支出に代わり退職給与引当金繰入額が加わる

資金収支計算書の同科目に施設・設備の当期減価償却額が加わる

資金収支計算書の同科目に施設・設備の当期減価償却額が加わる

消費収支計算書特有の科目。固定資産等の除却損等を計上している。

※千円単位で表記するにあたり、千円未満を切り捨てているため、合計等において差異が生じる場合がある。

〔 内 容 〕

※前記の資金収支計算書と共通の科目があるので、消費収支計算書特有のものについて説明。

(1)消費収入の部

- ①寄付金は、予算比30.04%増の5億2,028万円（前年度比では58.92%の増）。
- この中には、現物寄付金等が含まれている。
- 内訳 受贈および編入図書 1億8,411万円  
その他の受贈資産 2,150万円

(2)消費支出の部

- ①人件費は、予算比0.60%減の146億7,630万円（前年度比では23.19%の減）で、退職給与引当金繰入額9億7,035万円を含んでいる。
- ②教育研究経費は、予算比0.22%減の86億4,012万円（前年度比では7.75%の増）で、減価償却額25億6,061万円を含んでいる。

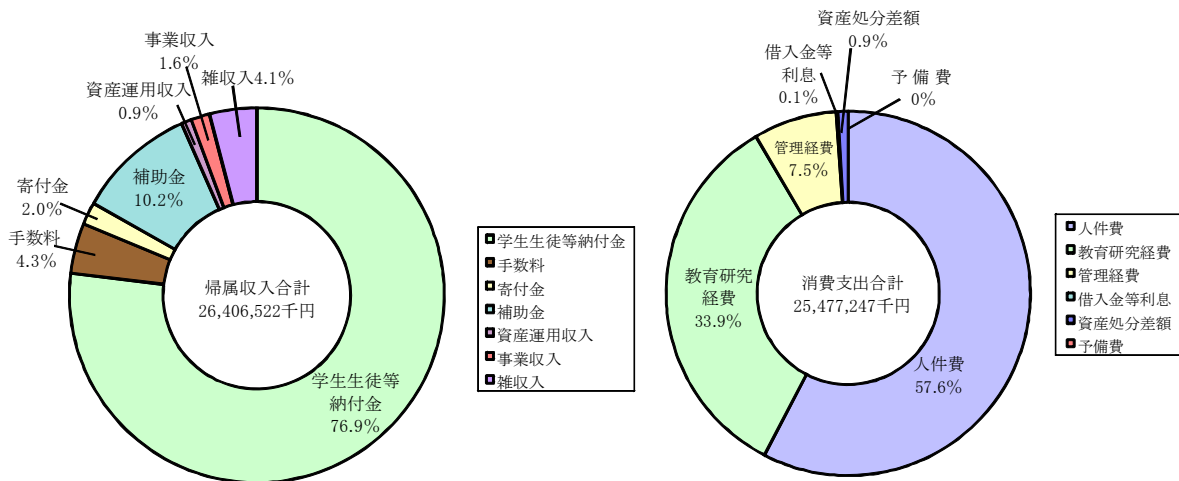
③管理経費は、予算比5.79%増の18億9,411万円（前年度比では7.28%の減）で、減価償却額2億4,586万円を含んでいる。

④資産処分差額は、予算比46.05%増の2億3,531万円（前年度比では462.24%の増）。

- 固定資産処分差額内訳  
建物 1億7,329万円  
（生田3号館解体・生田7号館一部解体等に伴う建物及び建物付属設備処分差額）  
構築物 40万円  
（石巻専修大学における台船等構築物処分差額）  
教育研究用機器備品 4,468万円（5,154点）  
管理用機器備品 542万円（139点）  
車両 90万円（2台）  
電話加入権 16万円（1件）  
図書 1,043万円（2,938冊）

(表1)

平成23年度 消費収支決算科目別構成



(表2)

主要財務比率

比 率	算 式 ( × 100 )	平成19年度 ( 決 算 )	平成20年度 ( 決 算 )	平成21年度 ( 決 算 )	平成22年度 ( 決 算 )	平成23年度 ( 決 算 )
人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	53.34 % (51.4 %)	53.87 % (52.8 %)	54.89 % (52.6 %)	74.24 % (52.9 %)	55.58 %
人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	68.42 % (71.7 %)	66.54 % (72.3 %)	69.23 % (72.4 %)	91.27 % (72.0 %)	72.29 %
教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	33.34 % (29.7 %)	33.29 % (31.0 %)	33.68 % (30.9 %)	31.16 % (30.9 %)	32.72 %
管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	8.44 % (8.7 %)	8.49 % (9.9 %)	8.37 % (10.3 %)	7.94 % (8.8 %)	7.17 %
帰 属 収 支 差 額 比 率	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	△ 1.35 % (7.4 %)	2.44 % (0.2 %)	1.39 % (3.7 %)	△ 13.62 % (4.4 %)	3.52 %

備考 ( )内は日本私立学校振興・共済事業団調査による医歯系法人を除く大学法人平均値を示す。

### 3 貸借対照表

貸借対照表は、平成24年3月31日現在の資産、負債、基本金等の状況を前年度末と対比させて表示している。

貸借対照表 平成24年3月31日

(単位：千円)

資 産 の 部				
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増	減
固 定 資 産	125,133,346	125,676,298	△	542,951
有 形 固 定 資 産	90,556,282	92,316,910	△	1,760,627
土 地	33,026,427	33,026,427		0
建 物	37,144,346	38,728,128	△	1,583,782
構 築 物	2,104,926	2,236,016	△	131,089
機 械 装 置	68,917	75,949	△	7,031
教育研究用機器備品	2,499,787	2,893,180	△	393,392
管理用機器備品	199,793	222,526	△	22,732
図 書	15,499,231	15,120,735		378,496
車 両	12,851	13,945	△	1,094
その他の固定資産	34,577,064	33,359,387		1,217,676
電 話 加 入 権	18,835	19,003	△	168
温 泉 利 用 権	7,000	7,000		0
有 価 証 券	813,888	783,394		30,494
教 職 員 貸 付 金	15,650	16,494	△	844
北 上 学 園 貸 付 金	8,000	16,000	△	8,000
敷 金 ・ 保 証 金	2,709	2,496		213
退 職 給 与 引 当 資 産	3,550,000	3,500,000		50,000
法 人 基 金 準 備 資 産	6,238,000	6,138,000		100,000
施 設 設 備 準 備 資 産	21,200,000	20,200,000		1,000,000
第 3 号 基 本 金 引 当 資 産	2,722,981	2,677,000		45,981
流 動 資 産	11,079,681	10,471,744		607,936
現 金 預 金	9,460,657	9,842,459	△	381,801
未 収 入 金	1,303,523	350,482		953,041
仮 払 金	184,658	120,822		63,835
前 払 金	118,311	143,977	△	25,665
短 期 貸 付 金	12,529	14,002	△	1,472
資 産 の 部 合 計	136,213,028	136,148,042		64,985

減価償却資産については、  
減価償却累計額控除後の価額。  
有形固定資産の減の要因は、  
減価償却、除却等による。

種類  
 ・学術奨励基金引当資産  
 ・相馬学術奨励基金引当資産  
 ・校友会研究奨励基金引当資産  
 ・神山奨学基金引当資産  
 ・川島記念学生表彰基金引当資産  
 ・キャンパス等緑化基金引当資産  
 ・今村学術奨励基金引当資産  
 ・下田奨学基金引当資産

負債の部				
科目	本年度末	前年度末	増	減
固定負債	11,687,631	13,380,457	△	1,692,825
長期借入金	2,009,410	2,797,170	△	787,760
長期未払金	421,923	809,855	△	387,931
退職給与引当金	9,256,297	9,773,431	△	517,134
流動負債	7,681,530	6,852,995		828,535
短期借入金	787,760	787,760		0
短期未払金	2,058,079	1,044,802		1,013,277
前受金	4,026,624	4,065,724	△	39,100
預り金	809,067	954,709	△	145,642
負債の部合計	19,369,162	20,233,452	△	864,290
基本金の部				
科目	本年度末	前年度末	増	減
第1号基本金	137,237,228	136,234,901		1,002,326
第3号基本金	2,722,981	2,677,000		45,981
第4号基本金	1,829,000	1,829,000		0
基本金の部合計	141,789,209	140,740,901		1,048,307
消費収支差額の部				
科目	本年度末	前年度末	増	減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 24,945,343	△ 24,826,311	△	119,032
消費収支差額の部合計	△ 24,945,343	△ 24,826,311	△	119,032
科目	本年度末	前年度末	増	減
負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計	136,213,028	136,148,042		64,985

日本私立学校振興・共済事業団、銀行からの借入金(平成27年度が返済期限)

借入金の平成24年度返済額

※千円単位で表記するにあたり、千円未満を切り捨てているため、合計等において差異が生じる場合がある。

#### (1)資産の部

資産の部では、固定資産が、前年度末より5億4,295万円減の1,251億3,334万円。このうち、有形固定資産が震災による生田校舎3号館の解体等により、前年度末より17億6,062万円減の905億5,628万円。その他の固定資産は、法人基金準備資産、施設設備準備資産等の増により前年度末より12億1,767万円増の345億7,706万円。

流動資産は、未収入金及び仮払金等の増で、前年度末より6億793万円増の110億7,968万円。

資産の部合計は、前年度末より6,498万円増の1,362億1,302万円となっている。

#### (2)負債の部

負債の部では、固定負債が長期借入金、退職給与引当金等の減で前年度末より16億9,282万円減の116億8,763万円。

流動負債は、短期未払金の増で前年度末より8億2,853万円増の76億8,153万円。負債の部合計は、前年度末より8億6,429万円減の193億6,916万円となっている。

#### (3)基本金の部

基本金の部では、第1号基本金が前年度末より10億232万円増の1,372億3,722万円。第3号基本金が前年度末より4,598万円増の27億2,298万円で、第4号基本金は、前年度末との増減がなく、18億2,900万円。

基本金の部合計は、前年度末より10億4,830万円増の1,417億8,920万円となっている。

#### (4)消費収支差額の部

消費収支差額の部合計は、消費収支計算書末尾の金額と同額で249億4,534万円の消費支出超過額となっている。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた正味財産は、1,168億4,386万円となっている。

## 4 学校法人が作成する計算書類について

### 【資金収支計算書】

#### 1. 目的(学校法人会計基準第6条)

- ①当該会計年度の諸活動に対応する全ての収入及び支出の内容を明らかにする。
- ②当該会計年度における支払資金(現金、当座預金、普通預金等)の収入及び支出の顛末を明らかにする。

#### 2. 特色

- ①期中の資金の増減を科目に区分して記載し、前年度繰越支払資金と次年度繰越支払資金を加えたもの。
- ②前受金・未収入金の収入項目、前払金・未払金の支出項目については、前期もしくは翌期に実際の入出金がある場合でも、当期の収入、支出項目として計上し、資金収入調整勘定、資金支出調整勘定でマイナスして入出金を取り消す。

### 【消費収支計算書】

#### 1. 目的(学校法人会計基準第15条)

当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにする。

#### 2. 特色

- ①消費収入は、当該会計年度の帰属収入(学校法人の負債としない収入＝学生生徒等納付金、手数料、補助金など)から基本金(※別記)に組み入れる額を控除して計算する。
- ②消費支出は、当該会計年度において消費する資産の取得価額及び用役(社会に役立つ働き)の対価に基づいて計算する。

### 【消費収支計算書と資金収支計算書の相違点】

#### 1. 資産・負債の増減取引除外

資金収支計算書上の「資産・負債の増減となる取引」は消費収支計算書から除外され、貸借対照表に反映される。

- 借入金等収入、前受金収入、貸付金回収収入、前期末前受金、前年度繰越支払資金、退職金支出、借入金等返済支出、施設関係支出、資産運用支出、前期末未払金支出、期末未払金、次年度繰越支払資金など

#### 2. 消費収支固有の取引仕訳

資金の動きは伴わないが、当年度の消費支出となる資産の消費或いは用役の収受、及び消費収入とみなされるものを、消費収支計算書に追加する。

- 現物寄付金、基本金組入額合計、退職給与引当金繰入額、減価償却費など

### 【貸借対照表】

#### 1. 目的

- ①学校法人の財政状態が健全であるかどうかの情報を提供する。
- ②教育研究のために必要な資産の保有状況を表示する。

#### 2. 特色

- ①一会計期間の期末時点での財政(財産)状態を示す。これは期中の各取引を複式簿記の原則に従って記帳し導き出される。
- ②記載金額は期末時点の財産価値ではなく、当初の取得価額で計上されたものである(取得原価主義)。

### 【基本金】

学校法人会計基準第29条は「学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その帰属収入のうちから組み入れた金額を基本金とする。」と規定し、基本金の種類として、第1号～第4号までが列挙されている。

- ①第1号基本金：校地、校舎、機器備品及び図書などの固定資産の取得価額
- ②第2号基本金：上記の固定資産を取得する目的で留保した預金などの資産の額
- ③第3号基本金：奨学基金、研究基金及び海外学術基金などの目的で運用する資産の額
- ④第4号基本金：学校法人の円滑な運営に必要な運転資金の額

#### ◆参考◆

「Q&A学校法人の新会計実務」

監査法人トーマツ パブリック・インダストリーグループ編／第一法規株式会社発行

「加盟大学財務状況の概要－平成20年度実績－」社団法人日本私立大学連盟



## V その他の資料

### 1 平成23年度卒業・修了者数

#### (1) 専修大学

(学部)

区分	学部	学科〔専攻〕	卒業者	
一部	経済学部	経済学科	617	
		国際経済学科	201	
	法学部	法律学科	639	
		政治学科	154	
	経営学部	経営学科	724	
	商学部	商業学科	4	
		マーケティング学科	606	
		会計学科	233	
	文学部	日本語日本文学科		
		日本語学専攻	60	
		日本文学文化専攻	137	
		英語英米文学科	191	
		人文学科		
		哲学人間学専攻	53	
		歴史学専攻	99	
		環境地理学専攻	39	
		社会学専攻	105	
心理学科		54		
ネットワーク情報学部	ネットワーク情報学科	243		
一部計			4,159	
二部	経済学部	経済学科	125	
	法学部	法律学科	159	
	商学部	商業学科	4	
		マーケティング学科	125	
	二部計			413
学部合計			4,572	

※平成22年度卒業延期許可者と  
平成23年度学期末卒業者を含む。

(大学院)

課程	研究科	専攻	修了者	
修士	経済学	経済学	21	
		法学	10	
	文学	日本語日本文学	8	
		英語英米文学	1	
		哲学	1	
		歴史学	5	
		地理学	2	
		社会学	7	
		心理学	16	
	経営学	経営学	10	
	商学	商学	9	
		会計学	15	
	修士課程計			105
	博士後期	経済学	経済学	1
		法学	民事法学	0
公法学			2	
文学			日本語日本文学	1
		英語英米文学	0	
		哲学	0	
		歴史学	2	
		地理学	0	
		社会学	0	
		心理学	0	
経営学		経営学	0	
商学	商学	1		
博士後期課程計			7	
大学院合計			112	

※上記修了者の他に、専修大学学位規程  
第14条第1項のただし書きによる学位取得者が4人いる。

(専門職大学院)

課程	研究科	専攻	修了者
専門職学位	法務	法務	45

#### (2) 石巻専修大学

(学部)

学部	学科	卒業者
理工学部	基礎理学科	35
	機械工学科	53
	情報電子工学科	32
	生物生産工学科	47
経営学部	経営学科	235
学部合計		402

(大学院)

課程	研究科	専攻	修了者
修士	理工学	物質工学	4
		機械システム工学	1
		生命科学	0
	経営学	経営学	6
	修士課程計		
博士後期	理工学	物質機能工学	0
		生命環境科学	0
	経営学	経営学	0
博士後期課程計			0
大学院合計			11

#### (3) 専修大学北海道短期大学

(学科)

学科	卒業者
みどりの総合科学科	46
商経社会総合学科	89
合計	135



## 2 卒業後の進路(学部・学科)

### (1) 専修大学 (二部を除く)

卒業後の進路状況

※就職率は希望者に対する比率である。

卒業年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
就職	就職者	2,788	2,671	2,360	2,510	2,670
	就職率※	97.2%	95.8%	91.2%	90.2%	85.6%
進学	大学院進学者	105	99	105	117	101
	留学・学士入学・専門学校等進学者	85	89	86	95	113
受験準備(公務員・資格・進学等)		197	147	238	264	218

平成23年度卒業者の主な就職先

(株)長谷工コーポレーション、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、(株)九電工、(株)ニチレイフーズ、(株)ヤクルト本社、(株)ロッテ、山崎製パン(株)、(株)ブルボン、日本ハム(株)、タカラスタンダード(株)、凸版印刷(株)、アステラス製薬(株)、エーザイ(株)、大塚製薬(株)、ライオン(株)、NOK(株)、日本特殊陶業(株)、住友金属工業(株)、(株)LIXIL、YKK AP(株)、日本精工(株)、(株)ディスコ、東芝テック(株)、富士通(株)、住友電装(株)、アルプス電気(株)、スズキ(株)、アイシン・エイ・ダブリュ(株)、(株)日本アクセス、リコージャパン(株)、コーセーコスメポート(株)、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)、(株)セブン&アイ・ホールディングス、(株)みずほフィナンシャルグループ、(株)三井住友銀行、(株)三菱東京UFJ銀行、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)、中央労働金庫、農林中央金庫、野村証券(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、三井住友海上火災保険(株)、住友不動産販売(株)、東急リパブル(株)、小田急電鉄(株)、東日本旅客鉄道(株)、東海旅客鉄道(株)、日本通運(株)、(株)JTB首都圏、(株)エイチ・アイ・エス、(株)JALスカイ東京、(株)産業経済新聞社、(株)毎日新聞社、(社)共同通信社、KDDI(株)、ソフトバンク(株)、西日本電信電話(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・データ、(株)ワークスアプリケーションズ、(株)東京商工リサーチ、みずほ情報総研(株)、(株)プリンスホテル、日本中央競馬会、有限責任(監)トーマツ、有限責任あずさ(監)、ヤフー(株)

公立学校教員(中学校・高等学校)、国家公務員Ⅱ種(財務省、法務省、経済産業省、厚生労働省)、国税専門官、刑務官、裁判所事務官Ⅱ種、法務教官、東京消防庁、警視庁(警察官)

### (2) 石巻専修大学

卒業後の進路状況

※就職率は希望者に対する比率である。

卒業年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
就職	就職者	343	352	275	251	263
	就職率※	97.4%	95.4%	90.8%	80.4%	90.7%
進学	大学院進学者	15	18	19	21	7
	留学・学士入学・専門学校等進学者	5	7	14	8	6
受験準備(公務員・資格・進学等)		6	15	17	14	22

平成23年度卒業者の主な就職先

理工学部

(株)インダ、沖ウインタック(株)、関東自動車工業(株)、(株)白謙蒲鉾店、スズキ(株)、仙台小林製薬(株)、(株)T T K、東日本旅客鉄道(株)、(株)武蔵野、(株)本山製作所、(株)ヤマザワ、(株)やまや、(株)ユアテック、南三陸町

経営学部

アークランドサカモト(株)、(株)エイチ・アイ・エス、(株)北日本銀行、(株)コメリ、セキスイハイム東北(株)、仙台ココ・コーラボトリング(株)、総合警備保障(株)、第一生命保険(株)、(株)ツルハ、(株)ニトリ、日本通運(株)、(株)LIXILビバ、医療法人社団仁明会齋藤病院、北秋田市

### (3) 専修大学北海道短期大学

卒業後の進路状況

※就職率及び進学率はそれぞれ希望者に対する比率である。

卒業年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
就職	就職者	78	56	42	29	25
	就職率※	98.7%	96.4%	87.5%	80.6%	80.6%
進学	大学進学者	106	92	66	77	97
	進学率※	100%	100%	100%	100%	100%
受験準備(公務員・資格・進学等)		5	9	5	6	7

平成23年度卒業者の主な就職先

置賜農業共済組合、鷹巣町農業協同組合、鹿角森林組合、(株)岸本組、三鉦建設(株)、むつみ造園土木(株)、旭ボーリング(株)、(有)測土開発、木部建設(株)、北海道ニプロ(株)、トヨタカローラ北見(株)、社会福祉法人東藻琴福祉会、医療法人社団葵会、フラワーショップフミ、北海道バイオエタノール(株)、高橋水産(株)

平成23年度卒業者の主な編入学先

※( )内は、編入学者数である。

大学名	編入者数
専修大学	57
石巻専修大学	5
北見工業大学	3
帯広畜産大学	1
岩手大学	2
島根大学	2
苫小牧駒澤大学	2
北海学園大学	8
北海道工業大学	2
北海道文教大学	1
酪農学園大学	1
国土館大学	6
東京経済大学	1
西武文理大学	1
明海大学	1
京都外国語大学	1

### 3 公開講座等の開講状況

専修大学神田キャンパスで実施したもの

講座名	テーマ	実施期間	主催
キャリア支援公開講座	「プロフェッショナルが語る現代ビジネス事情2011」	5月～7月	専修大学キャリアデザインセンター
緊急報告・討論会	「東日本大震災の地域商業への影響と復興の展望」	6月	・(株)全国商店街支援センター ・専修大学商学研究所
外国語教育研究会	「鳳鳴(フォンミン)ー中国の記憶」上映会	6月	専修大学LL研究室
公開講座	「復旧・復興・再生への“絆と連携”」	7月	専修大学社会知性開発研究センター (社会関係資本研究センター)
共同公開講座	「中小企業の国際戦略」	7月	・東京信用保証協会 ・専修大学商学研究所
大学院公開講座	「PART 1”民主党政権の課題と展望”」 「PART 2”東日本大震災と復興”」	10月～12月	専修大学大学院
公開講座	「古代東アジアの国際情勢と人流」	11月	専修大学社会知性開発研究センター (東アジア世界史研究センター)
シンポジウム	「心と身体と環境をつなぐ科学」	11月	専修大学社会知性開発研究センター (心理科学研究センター)
シンポジウム	「ドイツでは、なぜ脱原発の決定にいたったのか？」	11月	・専修大学社会科学研究所 ・専修大学今村法律研究室 ・専修大学法学研究所
小企画展	「江戸・明治の実印と印鑑登録・証明」	11月	専修大学図書館
図書館特別展	「和(やまと)しうるわしー日本の文字と書物の歴史ー」	11月～12月	専修大学図書館
小企画展	「明治の三くだり半」	11月～12月	専修大学図書館
シンポジウム	「アジアのソーシャル・キャピタルー実態調査を踏まえてー」	12月	専修大学社会知性開発研究センター (社会関係資本研究センター)
学術講演会	「米国・パキスタン関係」	12月	専修大学法学部
公開シンポジウム	「東日本大震災への企業の対応と復興への展望」	1月	・専修大学商学研究所 ・専修大学商学研究所
公開シンポジウム	「性暴力の実態を踏まえ今後の日本の性犯罪規定のあり方を展望する」	1月	・専修大学今村法律研究室 ・専修大学法学研究所
公開シンポジウム	「撮る」「書く」「話す」のいまー自主規制と公権力介入を考えるー」	3月	・(社)日本バンククラブ ・専修大学社会科学研究所
シンポジウム	「地域復興への大学の挑戦～東日本大震災を乗り越えて～」	3月	・(株)毎日新聞社 ・専修大学

専修大学生田キャンパスで実施したもの

講座名	テーマ	実施期間	主催
企画展	「水滸伝vs八犬伝」	4月～5月	専修大学図書館
公開講座	「変貌するグローバル経済の行方」	5月～7月	専修大学経済学部
国際交流特別講演会	「やさしい英語による経済学講座」	6月～7月	専修大学国際交流センター
公開講演会	「脳・こころ・言葉」	7月	専修大学自然科学研究所
公開講座	「墓制から見た東アジアの交流」	7月	専修大学社会知性開発研究センター (東アジア世界史研究センター)
公開講座	「市民のためのソーシャル・ビジネス入門」	7月	・川崎市 ・専修大学KSソーシャル・ビジネス・アカデミー
高校生のための経営学実践講座	「ステキなショップをマネジメントしよう！」	9月	専修大学経営学部
公開講座	歴史を紐とく「歴史のなかの大災害と復興の祈り」	10月	・川崎市教育委員会 ・専修大学エクステンションセンター
公開シンポジウム	「スポーツ科学の可能性とその限界ー実践としてのスポーツ科学ー」	10月	専修大学社会体育研究所
国際交流特別講演会	「やさしい英語による経済学講座」	10月～11月	専修大学国際交流センター
公開講座	「シリアの過去・現在・未来」	11月	専修大学人文科学研究所
ブレ多摩区制40周年記念3大学 知的探訪	「専修大学のあゆみ、多摩区のあゆみ」	11月	専修大学
政策科学シンポジウム	「「社会保障・税一体改革」をめぐって」	11月	専修大学経済学研究科
公開講座	「東日本大震災・原発事故と報道」	12月	専修大学人文科学研究所
公開シンポジウム	「原発事故とエネルギー政策の転換」	12月	専修大学社会科学研究所
シンポジウム	「心理学における効果の大きさとばらつき」	2月	専修大学社会知性開発研究センター (心理科学研究センター)

専修大学サテライトキャンパスで実施したもの

講座名	テーマ	実施期間	主催
公開講座	「The 寺子屋IX 初級講座」	5月～6月	・川崎市教育委員会 ・専修大学エクステンションセンター
公開講座	「The 寺子屋IX 中級講座」	5月～6月	・川崎市教育委員会 ・専修大学エクステンションセンター
国際シンポジウム	「これからの中国とベトナムでのチャンスと課題」	8月	専修大学商学研究所
公開講座	「地域を知り、地域を創ろう～市民活動の現状とさまざまな連携と協働～」	9月	・川崎市 ・専修大学KSソーシャル・ビジネス・アカデミー
図書館特別展	「和(やまと)しうるわしー日本の文字と書物の歴史ー」	11月	専修大学図書館
外国語教育研究会	「外国人から見た東日本大震災」	11月～12月	専修大学LL研究室
公開講義	リレー講義「CSRとソーシャル・ビジネス」	1月～2月	・川崎市 ・専修大学KSソーシャル・ビジネス・アカデミー

石巻専修大学キャンパスで実施したもの

講座名	テーマ	実施期間	主催
臨時絵本図書館	「こどもの絵本の庭」	4月	石巻専修大学教育会教科研究部会
公開講座	「市民のためのマリンバイオマスエネルギー理解講座」	9月	石巻専修大学共創研究センター
地域活性化研究会プロジェクト	「まちづくり懇話会」	7月～	石巻専修大学経営学部地域活性化研究会
みやぎ県民大学 「石巻専修大学開放講座」	「復興の道標」	9月～10月	・宮城県教育委員会 ・石巻専修大学他
石鳳祭図書館企画	「展示企画」「絵本原画展」	10月	石巻専修大学図書館
健康教室	「生活不活発病を防ごう」	10月	石巻専修大学共創研究センター
勉強会	「太陽光発電システム導入に関する勉強会」	10月	・ISプロジェクト(石巻信用金庫・石巻専修大学)
社会知性フォーラム	「3Dの英語学習法－音読を中心に－」「自然界に働く力の利用－可能性を研く」	11月	・石巻専修大学 ・専修大学
図書館企画展	「東日本大震災」を図書館資料から知る	3月	石巻専修大学図書館
共創研究センターシンポジウム	「共生社会をめざして」	3月	石巻専修大学
フォーラム	「震災復興記録集刊行記念フォーラム」	3月	石巻専修大学紀要編集委員会

専修大学北海道短期大学キャンパスで実施したもの

講座名	テーマ	実施期間	主催
市民公開講座	「みどりの総合科学Ⅰ・Ⅱ」	4～11月	専修大学北海道短期大学 みどりの総合科学科

学外施設で実施したもの(テーマ下枠は開催場所)

講座名	テーマ	実施期間	主催
青少年のための科学の祭典	「みらいへの道標」 【サン・ファン館展望棟】	8月	・「青少年のための科学の祭典2011」 石巻大会実行委員会 ・(財)日本科学技術振興財団・科学技術館
サテライトキャンパス企画	「共生ブラザー 地域の気持ちをひとつにする」 【アイトピア商店街(チャレンジショップ)他】	8月～12月	・石巻市 ・石巻専修大学 (共創研究センター・大学開放センター)
提携講座 鶴岡市民大学講座	「豊かさを求めて～すこやかライフ発見！～ クオリティ・オブ・ライフ(生活の質)の向上をめざして」 【鶴岡市中央公民館】	9月	専修大学エクステンションセンター
提携講座 北上市民大学	「多発する中東紛争の歴史と現代－中東紛争の国際石油情勢への影響－」 【北上市生涯学習センター】	9月	専修大学エクステンションセンター
提携講座 市民大学講座(新潟県佐渡市)	「佐渡学－佐渡金銀山を開発した大久保長安の謎－」 【トキのむら 元気館】	9月	専修大学エクステンションセンター
特別展	「専修大学北海道短期大学のあゆみ～目で見えるあの日あの時」 【美唄市立図書館】	9月～10月	専修大学北海道短期大学
提携講座 横須賀市市民大学	「刑法入門－犯罪と刑罰の理論と実務－」 【横須賀市生涯学習センター】	10月～11月	専修大学エクステンションセンター
東京都交通局開局100年記念 特別展示	「千代田区にも路面電車が走っていた！」 【千代田図書館】	11月～12月	・千代田図書館 ・専修大学
黎明館・専修大学合同企画展	「日本の財政学を築いた薩摩藩士～専修大学創業者・田尻福次郎の生涯～」 【鹿児島県歴史資料センター黎明館】	11月～1月	・鹿児島県歴史資料センター黎明館 ・専修大学
出前講座	「食品情報の見分け方」 【石巻ビルディング】	12月	・(株)インテリジェンス ・石巻専修大学
石巻地域観光復興シンポジウム	「復興と観光」 【石巻グランドホテル】	1月	・宮城県東部地方振興事務所 ・ISプロジェクト(石巻信用金庫・石巻専修大学)
提携講座 横須賀市市民大学	「江戸時代の大災害と復興の歴史から学ぶ」 【横須賀市生涯学習センター】	1月～3月	専修大学エクステンションセンター

## 4 平成23年度学費

### (1) 専修大学

入学金 一部 260,000円 二部 130,000円 大学院・専門職大学院 200,000円

一部(ネットワーク情報学部及び人間科学部を除く) (単位：円)					一部(ネットワーク情報学部) (単位：円)						
入学年度		平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	入学年度		平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
授業料	第1年度	675,000	675,000	675,000	675,000	授業料	第1年度	825,000	825,000	825,000	825,000
	第2年度	675,000	675,000	675,000	675,000		第2年度	825,000	825,000	825,000	825,000
	第3年度	675,000	675,000	675,000	675,000		第3年度	825,000	825,000	825,000	825,000
	第4年度	675,000	675,000	675,000	675,000		第4年度	825,000	825,000	825,000	825,000
施設費	各年度	200,000	200,000	200,000	200,000	施設費	各年度	230,000	230,000	230,000	230,000
実験実習料	各年度	5,000	5,000	5,000	5,000	実験実習料	各年度	5,000	5,000	5,000	5,000
学会費	各年度	2,000	2,000	2,000	2,000	学会費	各年度	2,000	2,000	2,000	2,000

一部(人間科学部心理学科) (単位：円)			
入学年度		平成23年度	平成22年度
授業料	第1年度	735,000	735,000
	第2年度	735,000	735,000
	第3年度	735,000	735,000
	第4年度	735,000	735,000
施設費	各年度	230,000	230,000
実験実習料	各年度	5,000	5,000
学会費	各年度	2,000	2,000

一部(人間科学部社会学科) (単位：円)			
入学年度		平成23年度	平成22年度
授業料	第1年度	695,000	695,000
	第2年度	695,000	695,000
	第3年度	695,000	695,000
	第4年度	695,000	695,000
施設費	各年度	200,000	200,000
実験実習料	各年度	5,000	5,000
学会費	各年度	2,000	2,000

二部 (単位：円)					
入学年度		平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
授業料	第1年度	405,000	405,000	405,000	405,000
	第2年度	405,000	405,000	405,000	405,000
	第3年度	405,000	405,000	405,000	405,000
	第4年度	405,000	405,000	405,000	405,000
施設費	各年度	100,000	100,000	100,000	100,000
実験実習料	各年度	3,000	3,000	3,000	3,000
学会費	各年度	2,000	2,000	2,000	2,000

修士課程 (標準修業年限が4年の修士課程は除く) (単位：円)			
入学年度		平成23年度	平成22年度
授業料	第1年度	470,000	470,000
	第2年度	470,000	470,000
施設費	第1年度	120,000	120,000
	第2年度	120,000	120,000
実験実習料	各年度	5,000	5,000
学会費	各年度	2,000	2,000

標準修業年限が4年の修士課程 経済学研究科修士課程経済学専攻 (単位：円)					
入学年度		平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
授業料	第1年度	352,000	352,000	352,000	380,000
	第2年度	352,000	352,000	352,000	380,000
	第3年度	352,000	352,000	352,000	380,000
	第4年度	352,000	352,000	352,000	380,000
施設費	各年度	120,000	120,000	120,000	140,000
実験実習料	各年度	5,000	5,000	5,000	5,000
学会費	各年度	2,000	2,000	2,000	2,000

博士後期課程 (単位：円)				
入学年度		平成23年度	平成22年度	平成21年度
授業料	第1年度	450,000	450,000	450,000
	第2年度	450,000	450,000	450,000
	第3年度	450,000	450,000	450,000
施設費	各年度	120,000	120,000	120,000
実験実習料	各年度	5,000	5,000	5,000
学会費	各年度	2,000	2,000	2,000

法務研究科(法科大学院)法務専攻 (単位：円)				
入学年度		平成23年度	平成22年度	平成21年度
授業料	第1年度	950,000	950,000	950,000
	第2年度	950,000	950,000	950,000
	第3年度	950,000	950,000	950,000
施設費	各年度	260,000	260,000	260,000
実験実習料	各年度	5,000	5,000	5,000
学会費	各年度	2,000	2,000	2,000

## (2) 石巻専修大学

入学金 学部 230,000円 大学院 200,000円

理工学部 (単位:円)					経営学部 (単位:円)						
費目	入学年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	費目	入学年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
授業料	第1年度	968,000	968,000	968,000	968,000	授業料	第1年度	673,000	673,000	673,000	673,000
	第2年度	968,000	968,000	968,000	968,000		第2年度	673,000	673,000	673,000	673,000
	第3年度	968,000	968,000	968,000	968,000		第3年度	673,000	673,000	673,000	673,000
	第4年度	968,000	968,000	968,000	968,000		第4年度	673,000	673,000	673,000	673,000
施設費	各年度	260,000	260,000	260,000	260,000	施設費	各年度	210,000	210,000	210,000	210,000
実験実習料	各年度	80,000	80,000	80,000	80,000	実験実習料	各年度	20,000	20,000	20,000	20,000
学会費	各年度	3,000	3,000	3,000	3,000	学会費	各年度	3,000	3,000	3,000	3,000

理工学研究科修士課程 (単位:円)			
費目	入学年度	平成23年度	平成22年度
授業料	第1年度	953,000	953,000
	第2年度	953,000	953,000
施設費	各年度	260,000	260,000
実験実習料	各年度	80,000	80,000
学会費	各年度	3,000	3,000

経営学研究科修士課程 (単位:円)			
費目	入学年度	平成23年度	平成22年度
授業料	第1年度	658,000	658,000
	第2年度	658,000	658,000
施設費	各年度	210,000	210,000
実験実習料	各年度	20,000	20,000
学会費	各年度	3,000	3,000

理工学研究科博士後期課程 (単位:円)				
費目	入学年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
授業料	第1年度	774,000	774,000	774,000
	第2年度	774,000	774,000	774,000
	第3年度	774,000	774,000	774,000
施設費	各年度	180,000	180,000	180,000
実験実習料	各年度	80,000	80,000	80,000
学会費	各年度	3,000	3,000	3,000

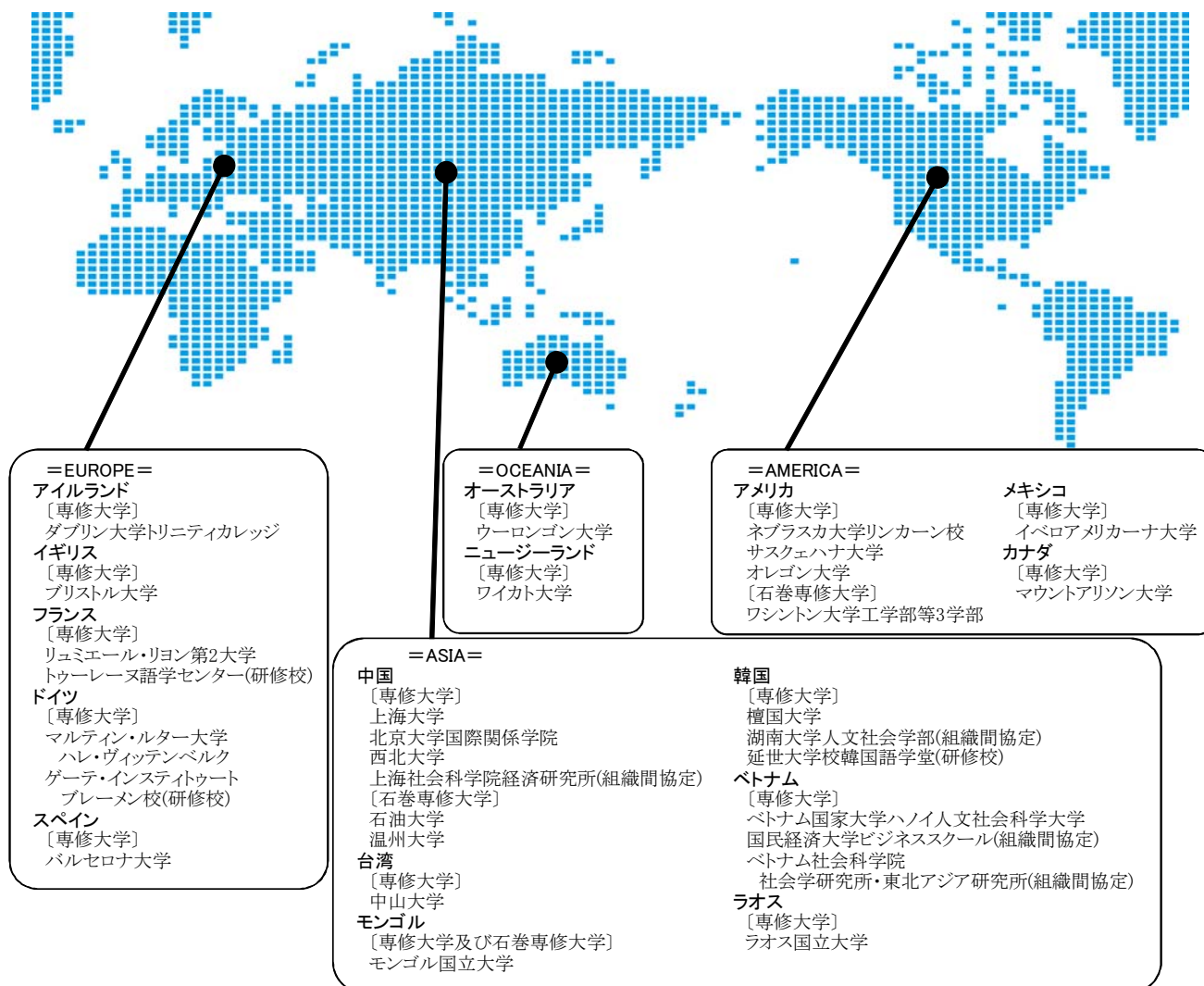
経営学研究科博士後期課程 (単位:円)				
費目	入学年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
授業料	第1年度	534,000	534,000	534,000
	第2年度	534,000	534,000	534,000
	第3年度	534,000	534,000	534,000
施設費	各年度	130,000	130,000	130,000
実験実習料	各年度	20,000	20,000	20,000
学会費	各年度	3,000	3,000	3,000

## (3) 専修大学北海道短期大学

みどりの総合学科 (単位:円)		
費目	入学年度	平成22年度
授業料	入学年度	750,000
	第2年度	750,000
施設費	各年度	200,000
実験実習料	各年度	140,000
学会費	各年度	3,000

商経社会総合学科 (単位:円)		
費目	入学年度	平成22年度
授業料	入学年度	640,000
	第2年度	640,000
施設費	各年度	200,000
実習料	各年度	20,000
学会費	各年度	3,000

## 5 国際交流協定校・国際交流組織間協定校(平成24年3月31日現在)



## 6 付属校

学校法人専修大学附属高等学校	〒168-0063 東京都杉並区和泉4-4-1
(設置校) 専修大学附属高等学校	
学校法人専修大学松戸高等学校	〒271-8585 千葉県松戸市上本郷2-3621
(設置校) 専修大学松戸高等学校, 専修大学松戸中学校, 専修大学松戸幼稚園	
学校法人北上学園	〒024-8508 岩手県北上市新穀町2-4-64
(設置校) 専修大学北上高等学校, 専修大学北上福祉教育専門学校, 専修大学北上幼稚園	
学校法人玉名学園	〒869-0293 熊本県玉名市岱明町野口1046
(設置校) 専修大学玉名高等学校	



Devoted to the Development  
of Socio-Intelligence

**SENSHU**  
**UNIVERSITY**